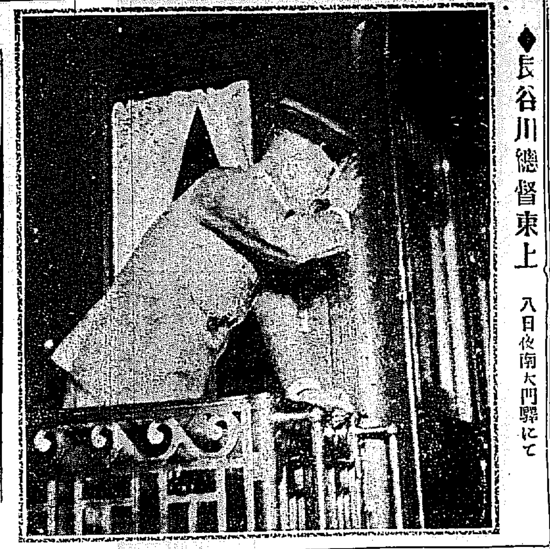
京城日報
六月九日夕刊
(朝夕刊を併せて八頁)

商況表
[illegible]

◆長谷川總督東上 八日夜南大門驛にて



○無援孤立の外無けん
獨逸形勢險惡＝新聞の論評

獨逸新聞は獨逸は西方諸强國との間に平和を求むるに非ざれば獨逸は遂に無援孤立の外無きを會得し速に和議を提出す可しと一齊に論じつゝあり其の謂ふ所に曰く『獨逸は今や戰場に於ては其の可能性の極點に達し居れるも一方國內の形勢は日を追うて險惡を加へ勞働者の態度は既に威嚇的となりたり』と(アムステルダム電報)

○佛軍敵部隊壓迫
俘虜百五十名獲得＝砲戰熾烈

佛國六日午後公報＝我軍は五日夜コンピシの東方にて既にオワーズを越えたる敵の部隊を引續き壓迫し俘虜百名を得たりオワーズの北に於て我軍はアークブレーの北西の我陣地を改善し敵五十名を俘虜とせりランスの西なるロンボン及びヴエーラポートリ地方にて砲戰殊に熾烈なり(巴里電報)

○佛國首相廢休命令

佛國首相クレマンソウ氏は病氣の場合の外一切の賜暇を廢する旨の命令を發したり(巴里電報)

○米鎔鑛爐許可證發行
日本軍艦製造銑鐵製出用として

戰時商務局は四百五十噸の鎔鑛爐二個を支那へ向け輸出許可證を發行したるが右は日本軍艦製造銑鐵製出用として日本人經營の工場に使用するものなりと(華盛頓電報)

○馮總統公債借出

馮總統は曩に前淸室より公債三百萬元を借り出したるが政府當局は淸室に對し該公債は抵當又は賣買するを得ざるものに就き速に回收す可き旨通告せるを以て淸室は馮總統に對し該公債引渡方を促しつゝあり馮總統は之れを返還せんとする或る事情の爲め苦悶し居れり(北京特電)

◎渡邊千春伯

前日本銀行理事伯爵渡邊千春氏は豫て喘息を患ひ居たるが八日午後遂に薨去せり(東京特電)

『略歷』伯は先代千秋氏の二男にして明治五年九月二十八日を以て生る大正三年同月家督を相續し襲爵仰付らる明治二十八年帝國大學文科大學を卒業し後日本銀行に入り擧げられて計算局長となり秘書役を兼ねしが同四十三年八月同行監事に擧げられ後年理事に昇進したり

●東拓株公募 開始

東拓新株六萬株三百萬圓は東京現物團と東京大阪株式現物團にて引受け公募を開始せるが條件左の如し(東京特電)

申込價格一株に就き超過金十圓以上▲申込株數單位十株▲申込證據金一株に就き五圓▲申込期限六月十三日より十七日迄

◎大阪電燈募債

大阪電燈は今回五百萬圓の社債募集に決し二十四日の總會に附議せり(大阪特電)

◎黑鉛低落と當業者

黑鉛一噸四百圓臺に低落せる結果城津地方同業者の打擊甚だしく城津の金融逼迫し市況頓に銷沈せる爲め目下當業者に於て救濟策考究中なり(城津特電)

◎總督釜山著發

長谷川總督一行は九日朝對馬丸にて乘船東上の途に就けり(釜山特電)

◎大倉男通過

大倉喜八郎男は九日朝著釜直に十時半發列車にて京城に向へり(釜山特電)

◎總督出發

長谷川總督は豫報の如く八日午後九時十分南大門驛發臨時列車にて釜屋武官齋藤大島兩副官神田秘書官等帶同東上の途に就きたるが驛には山縣政務總監以下總督府各部長官局課長を始め松川立花兩中將美濃部鮮銀總裁並に李完用伯閔丙奭子及び其他朝鮮貴族民間有志者多數の見送りありたり

◎軍團隊長會議(第二日)

軍司令部にては九日も引續き團隊長會議を開催したるが當日の出席者は步兵第四十旅團長以下の團隊長軍直屬隊軍官衙の長にて司令部よりは松川軍司令官市川參謀長以下幕僚出席松川軍司令官の注意事項に引續き市川參謀長廣瀨經理部長佐藤軍醫部長の講演ありたり

本紙定價 壹部參錢●壹ヶ月七拾五錢●郵稅壹ヶ月拾五錢●郵送ニ限リ前金●切手代用ハ二割增 [illegible]
廣告料金 [illegible]
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社 電話 [illegible] 振替口座 [illegible]
發行兼編輯人 奧山毅
印刷人 小川三之介

◎師團團隊長會議

第十九師團司令部にては九日立花師團長統裁の下に師團管下團隊長會議を開催したるが立花師團長の訓示あり尙ほ出席者は司令部より岡本參謀長外幕僚、團隊長側は大村三十七旅團長早川三十九兩旅團長以下聯隊長騎砲兵聯隊長各大隊長其他所屬隊軍官衙の長なり

◎鮮銀重役會議

朝鮮銀行にては九日も引續き重役會議を開き諸重要案件を協議せるが同日を以て終了せし模樣なり

◎客年私營苗事業

最近朝鮮に於ける造林事業の急速なる進展は樹苗の養成事業に異常の發達を促し其の生産數を追年激増しつゝありと雖も尙未だ充分の需要を滿すこと能はず爲めに年々多數の▲內地の樹苗 移入せざるべからざるの狀況なるより更らに一層の努力を以て斯業の隆盛を期せざる可からず大正六年中各道私營樹苗圃に於て生産せし樹苗總數は一億六千三百三十九萬六千本にして內七千三百八十四萬二千本は成苗として山植に供し八千九百十五萬四千本は幼苗として更に苗圃に床更せり是が養苗に從事する者は槪ね副業とするものにして其の數甚だ多きも其の內販賣を目的とし成苗二十萬本以上の生産者を擧ぐれば忠淸南道の九名最も多く慶尙南道の六名京畿道の二名▲順次相亞ぎ 全羅南道慶尙北道平安南道は何れも一名にして計二十名なり(內地人一五名、鮮人四名、組合一)之を前年に對比すれば忠淸南道に於て六名慶尙南道に於て二名を增加し又平安南道にありては二名京畿道黃海道咸鏡南道にありては各一名を減じたるも差引計に於て四名の增加を見たり以上の成績を前年に於る生産苗數に比較するに成苗に於て一千五百九十八萬三千本幼苗に於て二千五百四十三萬三千本合計四千百四十一萬六千本の增加を示せり今▲苗數の比較 するに慶尙南道の三千四百八十五萬本最も多く忠淸南道の二千七百三十九萬三千本忠淸北道の二千六百四十萬七千本京畿道千六百九十九萬四千本慶尙北道の千三百四十九萬六千本咸鏡北道の千三百十一萬一千本順次之に亞ぎ平安北道全羅南道平安南道咸鏡南道江原道全羅北道の順位にして何れも六百萬本乃至二百萬本黃海道の二百四十六萬本最も少し更に各道別の生産數を前年に比較すれば增加せるものは忠淸北道及び咸鏡北道の千五百萬本乃至▲千二百萬本 を最多とし其他忠淸南道の九百萬本慶尙北道の五百萬本全羅北道の百萬本平安南道全羅南道京畿道江原道の七十萬本乃至三十萬本是に次ぎ咸鏡南道の四萬を最少とし減少せしものは平安北道の百五十四萬本を最多とし黃海道及慶尙南道の九十萬本乃至八十萬本之に亞げり是等三道に於る生産苗數減少の原因は主として ニセアカシヤ及び白楊類等の速成樹種の施業を減じたると夏季に於ける稀有の旱害に起因し豫定の成績を擧げ得ざりしに因るものゝ如し發苗樹種中生産數の最も多きはクロマツの五千三百十六萬六千本にして▲アカマツの 三千三百三十五萬四千本クヌギの二千五百六十三萬八千本ニセアカシヤの千百七十萬四千本クリの千百廿五萬三千本カラマツの八百八萬本等也

◎全線列車時刻改正
七月十五日より實施されん

滿鐵京城管理局にては京釜京義兩線に於ける急行列車乘客分割の點より實施する▲混合列車の改善 並びに湖南線改修工事進捗のため同線時刻の改正を主とし全線の運轉時刻を改むる事となり目下運輸課にて頻りに改正時刻表の作製を急ぎつゝあり當初の豫定にては七月一日より改正實施の筈なりしも何分關係する所汎く諸種の手筈を必要とするを以て七月一日の實施は困難なるべく多分七月十五日よりとなる模樣なり尙ほ右の結果京釜京義兩線に於ける混合列車は旅客を主とし貨物を從とするものと貨物を主とし旅客を從とするものゝ二樣に分たれ旅客を主とするものは多く▲現急行列車 に讓らざる速力と設備を加ふるものゝ如く又湖南線は線路の都合上目下の列車速力頗る遲緩にして各驛の停車時刻甚だ永きに過ぐるを以て之を整理せし上木浦大田間並に群山大田間運轉時刻の短縮を企圖するものゝ由なり

◎林野調査令及調査計畫概要(五)
總督府山林課長 田中卯三氏談

道長官の查定確定するか又は不服の申立に對する裁決ありたるときは所有者の權利は確定して動かすべからざるものとなる(第十五條)但し罰せらるべき行爲に基きて查定又は裁決の爲されたるとき及び查定又は裁決の憑據と爲りたる文書が僞造又は變造なるに拘らず查定又は裁決を以て直に權利關係を確定するときは所有者緣故者に對し酷に失するの嫌あるを以て斯の如き場合には查定又は裁決のありたる日より三年內に林野調查委員會に再審の申立を爲し得ること、爲せり尤も再審の申立を何等の制限もなく認容するときは却て弊害の伴ふことあるべきに依り以上の行爲に付て判決が確定と爲りたるとき又は證據欠缺外なる理由を以て刑事訴訟手續の開始若は實行を爲し得ざるときに限ること、爲せり(第十六條)道長官をして所有權を查定せしむるは簡略に失し土地調查の例と權衡を得ざるの嫌ありと雖も林野は田畓垈等と異なり古來之に對して租稅を賦課したることなく又權利關係を證明する文券も少なく又墓地又は永年禁養等實地の現狀に依りて權利關係を判斷する場合寧ろ多きを以て本府に於ては一定の標準を示すに止め是等の狀況に通曉する道長官をして查定せしむるは却て實際に適切なる措置と信ず查定の目的は公平に所有者を決定するにあるを以て民有の區分に付ては一定の標準を示すの必要あり大體明治四十五年訓第四號森林山野及び未墾地國有私有區分標準左記各號に依り之を決定する方針なるに依り理由なく申告書を提出し或は徒らに紛々の費用を浪費するが如きことは決して爲すべきことに非ず●緣故林野に付緣故者の所有權を認むること●本令に於ては舊森林法第十九條に依り地籍届を爲さゞりし爲め國有に歸屬したる林野は之を舊所有者又は其の相續人の所有に查定し得ることゝ爲せり(第十條)舊森林法第十九條は同法施行の日(明治四十一年一月二十四日)より三箇年以內に地籍届を爲さゞるものは國有と看做すと規定せり

◎橫斷航路好況

朝鮮郵船會社の日本海橫斷航路は最近積荷の狀態頗る順調に赴き名古屋方面より北鮮に仕向くる綿糸布の如き復航の積荷として每航數增の姿にあり又大阪方面よりも時々綿布類の積出しを見槪して現成つて水通り程の狀態なり往航は北鮮の貨物並に滿洲方面の豆粕あり船腹は相當滿船なりと尙ほ合資船會社の橫斷航路就航船は先般大保丸を引揚げしも近く第二組合丸を廻航するものゝ如しと

◎朝鮮製粉進捗
工場建築等に著手

鎭南浦に本社及び工場を設置する事に決定したる資本金百萬圓の朝鮮製粉會社は最近本社並びに工場建築を指名入札に附せし結果南浦の五島組に受負はす事に決定建築に著手する事となりしに付專務杉浦眞作氏は兩三日前京城より南浦に赴き諸種の事務を視つゝあるが工場は今秋までに竣成すべく又米國に註文中の新式製粉機械は遠からず出來の旨通知ありしに付遲くも本年の結氷期前に南浦に揚陸据付完了の手配なるに付その操業開始は年內なる事は確定し居れり尙ほ工場一日の小麥製粉量は三百石の豫定にして一年十萬石を超ゆべきがその生産は黃海道の產麥にて十分なるべし又今冬より操業開始の豫定に付本年產麥より漸次購入をなすべしとの事なり

◎鮮銀株騰貴 增資說にて

朝鮮銀行の東京大阪市場の相場は七日舊株百八十七圓五十錢を唱ふるに至れり

◎延平島の石首漁 朝鮮

西岸に於ける石首魚漁期は大體に於て之れを三期に分ち其第一期は全南蝟島附近第二期は黃海道延平島附近第三期は平北龍岩浦附近にして延平島附近は例年四月二十九日より漁獲を開始し六月二十日頃を以て終了するものなれば本年も亦例年の如く目下盛んに漁業開始中にして去る四月下旬より五月十八日迄の水揚高は一萬七千圓內外に達したるも五月二十二日より二十八日迄の盛漁期は槪ね天候不良勝なりしを以て甚だ不振を極め所期の成績を擧ぐる能はずと

◎倉庫成績

五月中に於ける朝鮮鐵道倉庫の出庫は一萬二千六百噸にて前年より六千五百噸を增加し入庫は一萬七千噸にて前年より四千五十噸の增なり

◎在庫品保險

十一日より滿鐵京城管理局線に於ける營業倉庫藏置貨物に對する火災保險金額を包括保險一百十萬圓に變更したりと

◎井上博士仁川講演

井上圓了博士は豫定の如く八日午後六時二十分下仁同夜八時半より東本願寺に於ける赤愛國婦人會委員部主催の講演會に臨み九日午前八時三十分公立小學校講堂に於て講演をなし更に午後一時より佛教婦人會の爲めに再度の講演を東本願寺に於てなし第四回を仁川商業學校に於て午後三時より一般鮮人の爲めに講演せり

◎井上博士の揮毫

井上圓了博士は九日夜仁川より入京す博士に揮毫を依賴せし方は成る可く九日夜中に京城ホテルにて受取られ度しと

◎黑板博士入京

黑板文學博士は九日朝入京山本旅館へ投宿

◎大倉男入京

男爵大倉喜八郎氏は本溪湖煤鐵公司に關する要件を帶び滿洲行の途九日午後九時南大門驛著列車にて入京朝鮮ホテルに一泊の上十日午前九時五十分發列車にて北行の豫定なり

◎木村理事歸東期

朝鮮銀行東京駐在理事木村雄次氏は十日午前八時四十分南大門驛發列車にて歸東の豫定なり

◎藤井東上療養

不二興業專務藤井寬太郎氏は大正水利組合竣工式を終りて後東上したるが氏は蓄膿症の療養を行ふ由にて歸鮮は八月頃ならんと

◎小田榮氏入京

大連在住の小田榮氏は愈々京城に營業所を設くる事となり準備の爲め入京淸光館に滯在中なり

◎訂正

九日夕刊二面寄稿詩中『思君欲問問南計』は『思君欲問問南針』の誤

◎群山 ▲商議選擧

群山商業會議所評議員改選期は十一日午前九時より執行午後四時を以て投票閉鎖引續き開票採點の豫定なるが從來評議員定數は內地人十六名鮮人二名選擧有權者は百三十三名なりと▲選擧形勢 前項商業會議所評議員選擧期日切迫と共に數日來の各方面に於ける運動は漸く露骨となり競爭激甚を加へんとする形勢あり米穀商組合員有志二十四名は八日午前九時より米穀組合事務所に會合し組合員中より評議員十名選出の方針に決し候補者の豫選投票を行ひたる結果前評議員橫山興市、半田誠吉、森菊五郎、松本市五郎、北岡鶴松氏等の外脇村正七、中柴尙吉、松塲延太郎、下田吉太郎、岩田宇之助氏等を併せて十名を擧げたるが米穀商組合員多數の結束を以てせば推薦候補者全部の當選疑ひなかるべきも右候補者の內二三の辭退者は免かれざるべく而して米商團體推薦外一般推薦候補者として優勢なるは大澤藤十郎、楠田義達、樋口虎三、芦田卓藏、北川元助、平野嘉七郎、檜垣孫三郎、牛尾正一、西村又三郎、赤松繁夫、平松爛之助氏等なるが鮮人側候補者として文明琪、金周鉉、邊鼎鎬氏等優勢なるものゝ如し▲長官來群 李全羅北道長官は全北近海漁場視察の爲め八日午後五時著列車にて來群一泊の上群山警察署警備船にて竹島漁場に向ひたるが八日夜は群山料亭花月に催せる有志の招待宴に臨みたり

◎中鮮 大田 ▲鐵道俱樂部總會

大田鐵道俱樂部にては九日鐵塊公園大神宮境內に於て總會を開き會計報告ありて後園遊會を開く▲時枝分隊長榮轉 沃川憲兵分隊長時枝中尉は大尉に昇進公州憲兵隊付に補せられたるが十六日出發赴山分隊長として赴任の筈▲春繭出廻る 大田郡內の春繭は十五六日頃出盛り期に入る見込みなるが既に此頃初繭を見つゝあり郡廳に於ては例年の通り共同販賣の計畫なるが中には不正商人の道に擁して生產者より直接買込みをなすものある爲め當局にては嚴重取締りをなすべしと▲辻ビラ嚴禁 大田市中には從來各商店及び各方面へ廣告の爲め辻ビラを貼付するものありしが今般大田警察署にては一切辻ビラの貼付を嚴禁する方針を執る由なれば犯則なきよう注意すべしと▲東京大角力 鳳一行の東京大相撲は例年の如く大田に於て二日間興行の筈なるを以て目下假小屋建設計畫中なるが場所は大田町富士屋附近に決定せりと▲大田警察署の新築工事著手期 大田警察署の新築工事は本年度內に起工せらるゝ事確實にして既に設計を終り居る由なるも着手期は猶不明なるが多分七月に入るならんと▲校舍移轉期●大田尋常高等小學校舍二棟の內一棟は新校舍敷地內に移轉の事に決し居れるが移轉工事は本年九月夏期休暇中に決定せりと

北遊詩草(二)
東城 持地六三郎

次韻鵬逝將軍春日遊興

菜黃麥綠峽淺紅。五月郊村望不窮。堪美快晴輕暖日。征旅一隊逐薰風。

北行車上口占

一聲汽笛破晴晨。滿眼奇巒翠色新。雨後江山隨處好。颶輪百里輾殘春。

元山海頭所見

水天空濶遠山微。航路洋々帆影暉。大舸颶烟前進處。輕鳧拍浪掠波飛。

人事消息

▲大塚小一郎氏(日本銀行檢査役) 入京中のところ九日午前開城へ
▲弓波瑞明氏(本願寺執行) 九日午前元山へ
▲川上東拓理事 九日午前咸興へ
▲李王職國分一行六十二名 九日午前水原へ
▲高洲視氏(群山日報社長) 九日午前群山へ
▲岡田榮氏(代議士) 八日午後一山より入京
▲片山傳藏氏 九日朝入京朝鮮ホテルへ
▲岡田醫學博士 九日朝出發歸東

◎鋭敏な視察振
淺川中將に同行せる 權藤四郎介氏談

淺川馬政局長官と共に洗浦及び蘭谷の牧場を視察したる李王職權藤庶務課長の談に曰く

淺川馬政局長官は佐原馬政官を隨へ過日洗浦牧場に向へたるが此際總督府野口技師の外軍より醫部長師團より日河原獸醫部長等同行し吾輩も亦行を共にした一行は洗浦驛から直に總督府差廻しの古馬に跨り鐵蹄を連ねて洗浦牧場に到著六千町歩の大平原に羊を放牧せる實況を視察した上事務所に入り飼養の方法毛皮の處理等に就て巨細調査を遂げた一行は夫より再び馬背鞍上の人となり大峠嶺の嶮を突破して蘭谷面の牧場視察に向つたが目指す淮陽に著いたのは午後も最う夕景に近かゝつた一行は此處で郡守を首め多數有志者の出迎を受け其夜は旅館に一泊し翌日早朝牧場視察に出懸け先づ古の種馬を觀次いで糧秣に關する調査を遂げたが午後からは更に牧付けの實際を觀覽した此處は總面積千九百町歩で洗浦の牧場にくらべると大分小さいが設備は可成完全して居るやうだ一行は付の實際を見ると直ちに馬首を轉じて再び洗浦に出で同地より鐵道元山に向つた林獸醫部長と吾輩は元山で一行と分れ一泊の後歸京したが淺川長官の視察振りが頗る鋭敏で且つ微細を極めて居るには敬服した

好く見えた日蝕

五時十七分右偏三分の帶蝕にて現れ

◇下部蝕甚七分二厘＝五時四十五分

六時三十九分左下に全く復圓

＝美しい霧の朝仁川の觀測＝

夏の曙、東天紅を呈する午前五時仁川觀測所の山上には日蝕觀測の爲め數十の人が集つた所員總出

◇三脚機を立てゝレンズの先を磨く者望遠鏡を寫眞機に應用して大型の寫眞に納むる者、セキスタンドの調査を整へてバロメーターを覗む者或ひは色硝子を持つて肉眼觀測と出掛ける者斯の如く部處は定められて今や遲しと

▼日出を俟つ

◇幸ひなるかな東天連峰の頂些の雲翳なく朝靄浮ぶ山嶺の邊り刻一刻に紅み濃し軈て五時過ぐる十二分時針誤りなき文字板を指せば恰かも合圖を待ちたるものゝ如く黑鐵を燒きて益大にしたるかと見紛ふ眞紅の朝暾は天を焦がして山巓に浮ぶ早や

◇右偏三分の帶蝕はレンズに入つた此の時恰かも滿潮に際して朱安の入江に漲ぎし海水鏡面を舒べたる如きに露を含むで緑りに映ゆる曉の山姿を宿し之に照する眞紅に燃ゆる日蝕の倒影を現す此の奇なる大自然の前に一瞬は茫乎の露を踏むで唯恍惚として立ちつくす、軈て刻々に分秒は進む

▼偏蝕亦移動

◇し下部に七分二厘の蝕甚を見た時は五時四十五分六秒漸く光輝を加へて復圓するに隨ひ偏刈は左方に廻り六時三十九分四秒と云ふに左り下に全く復圓した斯くて珍らしき九日の日蝕は珍らしくも終始明瞭に最も精細觀測が出來て午前六時四十分三厘を納めたのである

蝕の時刻に相異がある

日蝕を觀測した 高島所長語る

京城測候所においては九日早朝日蝕觀測に從事したるが之につき高島同所長は語つて曰く『日の出頃東の空は大體に於て好く晴れてゐたので觀測上非常に好都合であつた尤も地平線上には多少

◆煙霧 が棚曳き碧空から少し上の方に薄い層雲があつたけれどこれは常季普通の狀態で惡しく觀測に差支へなかつたのみならず煙霧があつた爲め眩しくなくて好く却つて觀測を助けたやうな感があつた私は二人の助手と共に日出前から氣象臺に登り備付けの望遠鏡に煤硝子を裝置して待ち受けて居たが

◆大廟 の森に太陽の隱顯し始めたのが五時十二分、それから十三分を經た五時廿五分に至つて右扁上部に三分の蝕を帶びた太陽が森の上に現はれた、食甚は五時四十三分で此時太陽は三日月形になり下界は稍や暗黑になつたが蝕の周圍には例のコロナが光り輝いて却々の

◆美觀 であつた、斯くて五時五十五分蝕は眞下から左に移りつゝ次第に影を收め六時四十分全く復圓した、復圓の際は層雲が邪魔して幾分濁つて見えたけれど大體に於て今度の日蝕は充分なる觀測が出來たと云つて好い、尙私の實測に依ると蝕の

◆時刻 に多少の相異があるが之は必らずしも時計に狂ひがあつたとも言へぬから確かに然うだとは斷言出來ない』＝寫眞は日蝕觀測中の高島所長＝

◎不正漁業者 四名捕縛さる

慶尚南道濟州島都右面金左吾(三四)江原道襄陽郡上西面朱上里[illegible]たるを以つて前田巡査はさてはと引捕へ嚴しく詰問の上ダイナマイ[illegible]しと(釜山)

◎大阪公設浴場

大阪府にては今回公設浴場設置する由(大阪特電)

◎釜山の日蝕

釜山は夜來の曇天にて九日の日蝕は遂に食甚を見る能はず唯午前六時三十分に至り密雲稍や晴れ約三分間に亘る復圓狀態を觀ることを得たるのみなり(釜山特電)

◎千田川死去

大阪相撲年寄千田川は豫て病氣中の處八日遂に死去せり(大阪特電)

◎齋藤四段と白南圭氏

＝本社圍碁大會の盛況＝

大廣間の烏鷺戰

本社主催全鮮圍碁大會は九日正午より本町二丁目梅の家に於て催されたが初夏の緑を渡る風が心地よく吹き通す

◆大廣間 には朝鮮各地の知名の碁客を始め數十名參會定刻より審判員の斡旋指揮の下に手合せを開始した鋭拔け對局五面優勝者は抽籤で等級を定むる規定の下に

◆烏鷺を 闘はしたが當日は偶然にも東京より齋藤昔德氏(四段)入京したるを以て早速參會を求めたるに同氏は一諾の下に參會し朝鮮人碁客中の第一人者たる白南圭氏と手合せをしたのは

◆錦上花 を添ふるの觀あり全會員の興味は期せずして兩碁客の手合せに集中された午後二時頃には大廣間は碁客に滿され丁々の音は豆を炒るが如く仲々の盛況を呈した

◎京城の碁界をも見たい

女碁客喜多四段釜山に來る

◇弟子ひで子について語る

女流碁客の權威喜多文子女史は秘蔵弟子初段田岡ひで子女史を携へて八日朝入港の槇丸にて來釜棧橋前に投じたるが往訪の記者に語る

圖朝鮮は始めてです、妾は今回愈々田岡が獨立するので其の披露の爲め參りました、田岡は先に初段になりましたものですが實際は二段の資格は充分あると思ひます、飛び放れたと云ふ方ではありませんが熱心な事は感心の外はありません、今の調子で行けば益々上達するだらうと思ひますイヤ實はおん祖師しの

圖圍碁大會 に臨席して戴いて朝鮮の圍碁を親しく見せて戴きたいと思つたのですが何分秘蔵弟子の披露會を濟さぬ內はと思ひますので殘念でご座います、實は披露を濟したら直ぐに歸東する筈でしたが御社の圍碁會のお話などを承つては一度京城へも出て見たいと思つて居ます

▼苦心八年の喜 田岡ひで子語る

●漸く獨立する事になりました先生のお蔭で妾も漸く段を頂戴いたしましたが未だ〳〵之れからが大變です上京しましたのは八年前の四十四年です、其の當時は初段に正目位だつたと思ひます、お稽古ですか？ソレはマア弟子達許りで大抵は

圖研究的に 打つたり先生の手合せを拜見さして戴いたり講評を承つたりでサテ其れを專門に習ふとすると却々樂み處ではありません大事の石で失敗つたりした晩なぞ天井に歷々と局面が寫つて一晩中眠られない事もあります、今度先生も御一緒に來て下さつて

圖愈々獨立 する事になりましたので父母も大變嬉んで呉れました、八年振りに逢ひますので艀から降りて棧橋に立つた時などは何んとも言葉の出樣がありませんでした』因にひで子女史は當地西町二丁目田岡健太氏の一人娘で當年十八歲である(釜山)

◎講道館支部 道場移轉式

講道館朝鮮支部道場移轉式は九日午前十時より黃金町朝鮮貴族會館內元大正俱樂部跡に開設せる新道場に於て擧げられたり式は神式に依り道場正面に祭壇を設け支部員六十餘名參列し神官修祓の式を行ひ莊嚴に取行はれたり終りて小田部長より事務報告ありて新道場開きとして部員の稽古を爲せり

道場の修祓式

◎債券の月賦販賣 禁止さるべし

弊害一掃の方針

勸業債券の月賦販賣に就ては朝鮮でも種々の弊害があり其營業方法や手段には頗る射倖的のものや山子のものが多く豫て當局でも其の

▼▲內幕を 調査してゐたが、警視廳では今回此の販賣者を七日召集して七日限り其の營業を禁止し從來の契約口數及び受入れたる回數各種類別、府縣別のものを二十五日迄に調査して屆出づるやう命じ同時に該當業者で各地方に有つて居る出張所、代理店、出張員等に對しては營業を

▼▲禁止され た旨を通知せよと申渡されて居る、而して大阪も略同樣の內命があつたと言ふことであるから此の販賣業者は全く致命傷を受けたことになるだらうと云ふものがある、然るに京城を始め朝鮮の各市街地に

▲招牌を 揭げてゐる勸業債券の月賦販賣所は大抵本店を東京や大阪等に有つてゐるものが多く而して支店代理店となつてゐるものであるから本店が營業を禁止されば其の枝葉たる朝鮮の營業者も

▲當然禁止 さるゝ譯である、是に就いて朝鮮の係官憲でも早晚其の營業禁止の公報が內地から來るであらうと語つてゐた

△返金か解約

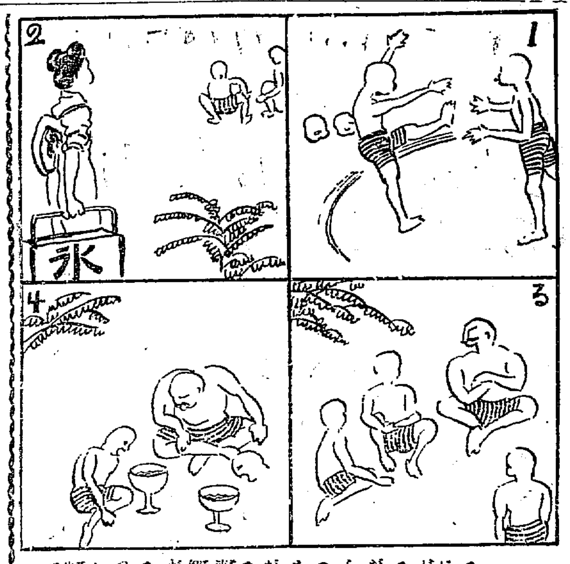
當業者曰く

＝同業者は相當多い＝

▼資金も 無くて全くカラクタの會社もあるさうですから是等の者に對して禁止命令が出たのでせう、夫れに現在されてゐる者に勸誘して販賣することは止められてゐるし、節しですから新に這入つて來る金が無いので當業者は

▼困つて 居ります、內地には二百ばかりの債券販賣會社がありますが資本金は五萬圓以上でない、許可が出來ないので、何でも昨年中に朝鮮に來た債券販賣の出張所とか代理店、支部のやうなものが二十四五あつたさうです、茲一

▼禁止さ れたとなれば今迄に月賦金を拂ひ込んだお客に對しては返金するか解約するより外はありません、何れにしても此の禁止命令は債券販賣業者には非常な打擊となります



圖毎週ポンチ 氷 ＝助太郎畫＝

◆東京大相撲の來る日が近づいたので相撲熱に浮かされた大供小供は毎日土俵の砂を樣につけてゐる

◆金の世話で相撲のおちさん今日は相撲場に來[illegible]が好かつたので大ニコ〳〵早速氷屋に使を走らせて註文した

◆暫くしてから氷が來たので小供達は我先にとコップを手にした所が氷の數より小供の數が一人多い

◆聰いおちさん一寸困つた顏をしたが早速頓智一つの謎をだした「さあ此謎を解き得ずにお終に殘つた者がたべるのだ」

◆小さい横綱や大關相撲の事はご忘れてしまつし頭を彼方へ傾け此方へ傾け考へたが中々よい智識が出ない十分も過ぎて漸く由太郎が先頭第一に謎を解いた時はいつの間にか氷が溶けて仕舞つて水ばかり一同すつかり泣顏[illegible]

お伽巡禮(七) 涙光生

□金泉□

◇至るまでかゝつて紙上講演の草稿を書き終つたのが一時、それからよく眠れた、起床間もなく朝食も終へぬ內に大邱の支局長藤本氏が見はれた、急ぎ朝食をしたゝめて[illegible]旅の女中の間ぬるさ加減は他で見られない圖だ今場の金泉小學校に到りついたのは九時

◇習場は數異の明通して小さいたから氣持がいゝ、九時半校長の紹介で演題に立つ

◇小さい拍手に迎へる樣は、なか〳〵都會の子供も及ばぬ程の喝采ものだ、話の最中でも喚起つては拍手がおこる、面白い話があつて二席して藤村理事の挨拶があつた

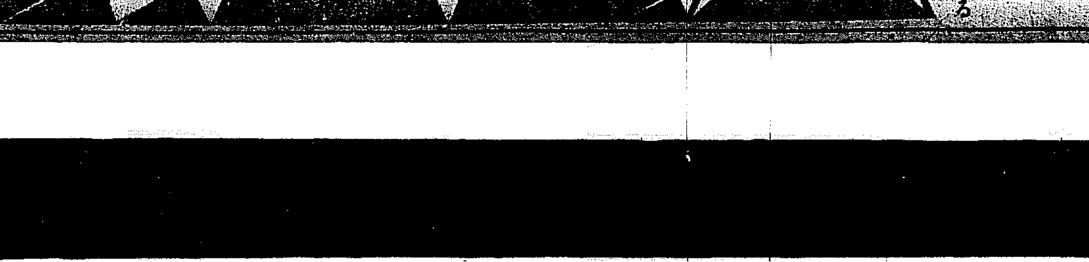
◇三席は悲しい話を持ち出した其方にも此方にも可愛い瞳から涙の雨が降つてゐる、會衆はすべて五百名、小學校の二百名と他はその父兄であつた、普校の二百名と他はその父兄であつた

◇會果てゝ別室でお茶の饗應を受け、小學校、普校校長等に郡廳からも吉山廳きに來てゐた諸君と雜談を交へ後市內を見て步く近き將來、當金泉は長足の進步をなして必ずや大田大邱間の一都市となり得るであらうといふことを思ふ

[illegible]

◇夕ざれば空を見上げて四十八箇所の御佛樣……とは言はないが、お伽の國の魔法婆さん、明日の天氣が好くして呉れるやう子供達が集るに困らぬやうと祈つてゐた

◇思ひながらも忙しさに疲れ[illegible]ふと久し振りに[illegible]の下で床に入つた。



六日の夜朝鮮ホテルで催された國澤理事長の官民招待宴は卸な賑つたが其席上で

芳賀博士曰く▲『吾輩は今迄赤葡萄酒は赤い葡萄で作るものと許り思つてゐたが事實は然うぢやない白い葡萄でも矢張り赤葡萄酒が出來るものだ相な』と▲此話しは忽ち列席の一同に夫から夫へと傳へられ食堂は俄に沸き立つた『博士は刀圭界の大家ではあるが酒の方はその何んだ……』と彌次る大官もあれば『赤葡萄でも一皮剝けば中は白い』とシタリ顏に吹聽する人もある▲話しは終に議論と化し段々花が咲いて來て甲論乙駁何時果つべしとも見ゑなかつたが結局之は博覽强記の上田秘書役に訊くが好いと云ふ事になり▲撤宴後休憩室に於て上田秘書役の意見を叩くと『葡萄酒の色は葡萄の色の紅白には依らぬ醸造法の相違から赤葡萄汁にもなれば白葡萄酒にもなるのです』とあつたので大抵の人が『ナール程』

◎課題の募集規定

□募集方法 ▲用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に雅號又は本名の外に住所氏名明記の事▲一題[illegible]

演藝案內

明治町二丁目 電話二六〇番 浪花館

京城壽町 電話五七八番 壽座

電話二六三二 二六六 黃金館

京城本町 電話一〇五〇 壽館

櫻井町 電話八七三 大正館

有樂館

一千限り 高貴織 正金代用金指環進呈

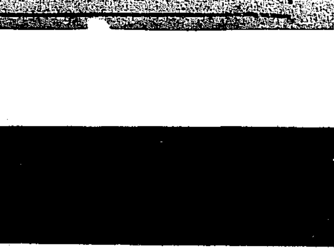
天下一品 白鶴 增本酒店 仁川本町三丁目 電話一〇九番

化粧化學を應用し絕對的黑色養毛に適し實に遺感なき……現代理想の― 椿香油なり

代理店 大阪 平尾レート 本舖 東京 平尾パール

パール 椿香油 パール ポマード パール 煉香油

毛髮の營養に富み日本に冠たる……世界的パール煉香油として內外の需要頗る旺盛なり



天氣 くもり 晴れ一時曇

●各方面より見たる

支那の前途（下）

齋藤少將談

南北の爭も日ならず解決すべしと考へらる

支那南北の關係は妥協は一寸不可能なるべし中央政府の主張は政府の命令を悉く嚴守せば妥協も可なるも曖昧なる妥協は再び變亂の因をなす所以なればとて大事を採て動かず、南方の主張は國會開設と臨時約法復活にあり、而し此の臨時約法なるものは袁世凱存在中袁の實權を奪はむとして成案せるものなれば夫れを復活せむか政府は空權を擁する事となるを以て到底此の妥協は不可能なるべし政府當局の言によれば遠からず南方敗滅すべしと稱し居るも果して急に行はるゝや否やは疑問なるも今日の形勢にては早晩北方派の勝利に期するは疑ふの餘地なかるべし、現在にては四川既に北方の手に歸し貴州、湖南、湖西に恢復し福建省近く攻撃せんとするもの如し、現今に情況にては

孫文は日本に逃れ

岑春煊も何地へか

去らむとす其の他の首領株既に浮腰なり、何分南方は各人間の結束固からざるが爲に十分の活動出來ざるは不已得事と云ふべし、故に余は日ならずして此の南北爭ひは收局すべしと確信す、今回北軍が形勢を挽回せる所以のものは奉天軍の功果なりと云ふも敢て過信にあらず、實に張作霖氏の勢力は推く許りなり、現今にては張作霖氏は實力上の支那に於ける花形たるの觀あり、張氏の派兵は世間傳ふる如く他に野心あるにあらず要は段政府を助けるに外ならず、支那の財政は頗る窮境に陷りつゝあるは事實なり、故に早晩我が

阪谷男の財政顧問

は現するに至らんと思ふ

今回の日支軍事協約中戰爭終結せば日本軍隊は速に引揚る事の聲明あるもあれば現在の駐滿及び駐支軍隊も併て引揚全然支那に我が軍隊を止めずと云ふにあらず此の後も場合に際し新たに出動する事ある軍隊に對して指せるものなれば現在駐支の軍隊は此の後と雖も何等變ずる事なし、我が林公使の歸朝説は何れより出たる臆測説にや何者今日にてはさる形勢更になし床次氏と林氏の關係も親密にして現に來京中林公使の官舍に宿泊しゐたるを見ても世間傳ふる如き事なきは明かなり

現寺内内閣によりて

支那問題は特に好轉し且つ圓滿

に總ての問題が進捗せるを覺ゆ、日支兩國の爲此の上なき好現象なり、支那上下を通じて帝國を理解し來る事の日に其の度の加はるは誠に喜ぶべき事なり、今日にては一部野心家が時に政爭の具に供せむとする外殆ど帝國を排する如き事は全く其の跡を斷てり、彼の日貨排斥の如き今日若し之れを行ふとすれば彼等は實に

自繩自縛に陷るべし

何れより日貨に代るべき品物の

輸入あるべきや張作霖氏の東三巡閱使就任問題は到底現實せざるべし、同氏自ら望み居らざるは勿論なり、孟吉林督軍も其の後居据りと決定後今日にては平穩無事なり吉會鐵道の布設は近く實現するに至るべし、支那當局も其の意のある事は明瞭なり、彼の

吉會鐵道は余が

開原在任中よりの問題にして

北方の開發は同鐵道の布設を俟て始めて望み得らるゝなり、彼の清津會寧間の鐵道も昨年全通によりて北鮮の產物の搬出量頗る多量となりたりと聞く、余等が始めて提唱せる吉會鐵道は當分多大の損失を免れずと思ひゐたりしが今日吉省の形勢に於ては收支相償ふに至らむ、支那の發展日支の眞の提携は此の如き事よりして始まらむ、昨今日を追て合辦事業の續出を見る頗る慶すべき現象なり、余が在勤中は當時代最も興味を以て北滿を研究せり、吉會鐵道の開通を見ば諸種の新事業併び起るべし、彼の牡丹江附近より寧古塔附近に於て泌湖の

隱れたる瀑布を利用し

水力電氣を起し製紙會社を起さまんとする

如きもの甚だ多き次第なれば之れ等を先驅として各種の工業起り以て吉林省を始め北滿一帶の開發を見る事なれば諸君の努力を俟つ事多し、東支鐵道のホルワット長官と郭督辦との和合せざるは支那側の權利が東鐵に十分認められざる規定となり居るを以て不已得事ならむか、余は歸途奉天に立寄り張作霖氏にも會見を遂げ直ちに北京に歸任する豫定なるが吉林には赴き能はざるを遺憾とするも同地方及び發展せる長春等は余の最も思ひ出深き處なり（長春）

◇セ軍征討の新編成軍

幹部は殆んど獨逸の俘虜將校にて

滿洲里よりの情報によるに、該地方面の戰線にて戰死したる過激派軍の將卒及び俘虜等より得たる情報及び文書類を綜合するに、獨逸の有名なる參謀將校にして露軍に俘虜となり居るフオン、タウベ少將は今回セミヨノフ征討軍に擧げられたる外同軍の各幹部は殆んど皆獨逸將校を以て滿たされ居るの狀態にて、軍法會議の如き、亦獨逸人を以て組織せられつゝあり尚ほ勞働者より編成せる赤色軍は解散され、爲めに過激派軍は只だ水兵を主とする赤衞軍約二千人を殘すのみとなれりと、又信ずべき筋の情報に依るにイルクツク以東に於ては既に八千の獨墺俘虜軍ありと、而して獨逸は歐露に成功したる筆法を以て先づ最前線の赤衞軍に掠奪暴行を恣まにさせ、住民を散々苦しめたる後秩序恢復の名を以て軍の掠奪を禁じ赤衞軍を解散し良民慰撫の形式の下に地方民の人望を得つゝ著々政權を獲得せんとする形跡明瞭になれり（哈爾賓）

長崎縣北高來郡小長井村富崎釜山[illegible]府流仙洞漁業中村萬次郎（三）熊本縣葦北郡船津濱同稔尾九一（三）全[illegible]るを前田上田の兩巡査が停船を命じたるに彼等は驚きて船艙に入り何者かを取り出して海中に投棄し[illegible]居たる不正漁業者も漁業時期の到來と共に又々跋扈するの模樣あるを以て此際嚴重の取締りを爲すべ[illegible]

●連絡船上陸客　八日午前[illegible]釜山入港新羅丸二等客 一等十四名[illegible]外人七名[illegible]

蠶況＝出盛

◆慶尙北道の新記錄◆

繭の最高價は十圓七十錢

慶尙北道に於ては五月末既に新繭の走りを見たるが昨今出盛り期に入り倭館、漆谷繭の出廻りは六月四日迄に約二百九十貫（最高價格九圓二十四錢、賣馴れ八圓三十五錢）六日の出廻り百二十貫（最高九圓三十六錢、賣馴れ八圓八十錢）の市價を稱へ主として大邱出十組製絲場、東亞蠶業株式會社の手にて買收しつゝあり又金泉繭は六日の出廻り約百五六十貫（最高九圓八十六錢平均八圓五十錢）の市價を稱へ是亦當地片倉組、小口組、小澤組、東亞蠶業株式會社の各商人と取引しつゝあり更に又軍威繭も五日約七十貫出廻りを見、今日迄に於ける最高記錄十圓七十錢を稱へ平均八圓にて大邱片倉組の手に落札したり其他聞慶繭も漸く出廻りを見、八日より共同販賣を開始することゝなり居れり（大邱）

◎慶南晉州の收繭◆

慶南晉州郡内の春蠶は氣温適度の結果病蠶少なく既に收繭をなしたものある狀態なるが本年の掃立數は改良種（六百四十枚）在來種（四十枚）收繭豫想（改良種百二十八石在來種四十八石）なり（晉州）

◎慶北共進會

●有田燒出陳　佐賀縣產品中の主要なる有田燒は元朝鮮より傳承したるものにて朝鮮と密接の關係あるを以て今秋大邱に開かるべき慶北共進會を機とし產地より多數の參考品を出品し尚會場內に賣店をも設備したき由過日同地同業者組合より同共進會へ申出たり

●船貨割引　朝郵會社にては今秋慶北第二回物產共進會開催期間中は慶北管内の盈德、英陽各郡及鬱陵島並に江原、慶南兩道よりの觀覽者並に輸送貨物に對し左記の通り定額賃金の割引をなす由

（一）船客往復共各等通例（二割引）二十人以上の團體（三割引）一般貨物（二割引）

●理事の囑託　慶北共進會郡島協贊會にては曩に囑託したる二名の理事の外今回更に郡の庶務主任並に財務主任に對し理事を囑託し尚各地の新聞社に對しても投稿方の依賴狀を發したり

●顧問の設置　慶北共進會郡島協贊會々則の規約を改正して顧問三名を置くこととせり（大邱）

◎朝鮮簡易商業と粗製沃土に就て

◆關稅の關係と支障◆

南鮮沿岸の特產物たる粗製沃土原料たる搗布灰の輸移出は最も留意すべき事なり該品は濟州島を中心として南鮮沿海に產し採取法甚だ簡易にして而も輸移出品として利益も多き由なるが元來此の搗布灰を粗製沃土として移出する者無きは最も遺憾とする處なりコハ粗製沃土として內地へ移出するときは百斤につき百三十六錢の關稅を內地にて課せらるゝを以て南鮮十數箇所の工場は不本意ながら單に灰として移出し居る狀態にあり、斯くの如きは朝鮮簡易工業の進展を阻害するものなるを以て免稅若くば減稅の特典を與へて是等工業發展の端緒を啓くに努むるも亦一考に値すべきなり、今其の原料品たる搗布灰として輸移出せらるゝ額を示せば左の如し

南鮮產出總高三百九十四萬斤七萬五千圓內二百六十四萬斤三萬四千圓（釜山）五十六萬斤一萬二千圓（鎭海）

尚近く釜山牧の島に於ても工場設置の計畫ありと聞く（釜山）

◎新材＝市場に現る

◆筏夫との問題も解決して◆

曩日の降雨にて近來筏數大に増加し毎日百餘臺の筏を見つゝありしが採木公司と筏夫との間に久しく結んで解けざりしが愈々圓滿に解決せしを以て新材市場に現はれ材木界は大に景氣立ち來れり因に目下價格は先月に比し多少下押しの模樣なりと（安東縣）

◎各地と貿易

◆大邱　五月中に於ける大邱の貿易額は輸移出入總額六十一萬六千〇二十二圓內輸移出十五萬九千七百二十八圓、輸移入四十五萬六千二百九十四圓にして前年同期に對比するときは輸移出額に於て十三萬八千三百九十八圓の增加を示せり、而して輸移出品の主なるものは豆類、魚類、棉花等にして輸移入品の主なるものは米、粟、小麥粉、果、柑子、砂糖、麥酒、棉子類、綿織糸、生金巾類、晒金巾類、天竺布、綿ネル類、毛織物、綿織物、[illegible]洋傘、其他の類、具類、[illegible]、傢具其他諸機械類、鐵釘、[illegible]、セメント、小包郵便物等とす（大邱）

◎北鮮造船業

淸津港に於ける造船業は近來著しき發展を爲し造船數も激增を見るに至りしが多くは小型帆船小蒸汽船に過ぎざりしも今回千二百石の大型帆船を建造する事となり既に工事に着手せるが十月頃竣成すべく竣成の上は二級船として內地間の運航に就くべしと云ふが東朝に於て斯る大型船の建造は之を以て嚆矢とすと而して淸津港の造船業が斯く發展を見るに至りしは用材として廉價なる羅春材を得らるゝ外其他の材料及び工賃が低廉なる結果にして普通內地及南鮮地方に於て一噸當り百五十圓乃至二百圓を要するもの淸津にて其約半額百圓內外にて建造するを得るを以てなり將來北鮮海運界の發展と共に淸津の造船業は益々有望なるべし（淸津）

農況＝晉州＝麥

慶南晉州郡の小大麥作は昨冬稀有の酷寒にて甚しく凍害を受けしも本春に至り適度の降雨により生育頓に回復し目下出穗乳熟中にして作收の見込は平年に比し三割三分增收の見込にして收穫豫想は小麥六千〇十九石、大麥七百三十三石六十なり（晉州）

◎亡夫の遺產が何時の間にか

他人の名に代る

慶南晉州郡智水面勝內里の亡許萬純氏は慶南道內にて有名なる豪家にて所有財產四十萬圓餘と稱せられ居れるが許氏は實子なきため妾腹の許璇九（十五）を庶子とし全財產を同人の名儀となし置きし處同氏は昨年死去せしため璇九の實母尹姓女が後見人として總ての手續を終了し平和なる日を送り居りしが好事魔多く親族なる許萬鶴と云ふ者他の親族十二名と共謀し親戚の一人なる許慶亮が智水面役所に面書記を奉職するを奇貨とし尹姓女及び相續人許璇九の實印を僞造し故許氏の實子許薰九（一）を養子となし璇九は合意上別家せし如く戶籍の變造をなさしめ所有土地を薰九の名義に變更したるが後にて璇九及び實母は戶籍面の變更を發見し驚いて晉州支廳に家督權確認の訴訟を提起せし處前記の事情發覺し此の程關係者十數名拘引せられたり尤も此の裡面には複雜せる事情あるもの如しと（晉州）

◎十八歲の拐帶

忠北淸州郡淸州面市場川上嘉平方店員熊本縣玉野郡六榮村大字折腑生れ松岡仁平（一八）は主人の云付にて鳥致院の支那人雜貨商源生義外二三軒より三百餘圓を集金し其足にて逃走し行衞不明となりしが或は釜山浦邊りへ逃げて行きしものに非ずやとて目下搜索中（淸州）

◎油煙と片栗で染料を拵へる法

但、新手の詐欺

朝鮮も新政以來犯罪の狀態が一變して是まで犯罪の種類といへば單純な强竊盜橫領詐欺とか傷害乃至放火拐に決まつてゐたものだが近頃巧妙な摸倣や詐欺取財の犯人が多くなつたのは大に注目すべき現象といはねばならぬ、爰に平南大同郡林原面仁興里の李璿淵（四五）と同郡町居住の朴贊明（二二）の兩名は共謀して油煙と片栗の粉を混せて不正の染粉百五鑵を造り平壤鷄里金聖浩方外數軒へ賣却したる事が發覺して平壤署の手に取押へられた（平壤）

◎西原氏に關する支那財界新音

◆銀行の取引と新借款◆

支那の國立銀行たる交通銀行は今回日本の各銀行と取引關係を結ぶべく計畫中なり同計畫は極めて秘密の中に進捗中にて目下北京滯在中の西原龜三氏及び內地に赴きたる交銀顧問藤原氏等も參與し居たりといふ而して又た西原龜三氏は支那政府との間に更に新借款進捗中なりとの說あり右借款は一千萬元位なりと傳へらる（北京）

京城日報　お伽講演

十一日　馬山公立小學校前十時
十一日　鎭海公立小學校後三時
十三日　晉州公立農學校前十時
十四日　江景公立小學校前十時
十五日　裡里裡里座にて前十時
十五日　全州公立小學校前十時
十六日　井邑公立小學校前十時
十七日　光州公立小學校前十時
十七日　松汀里小學校後三時
十八日　羅州公立小學校前十時
十八日　榮山浦公立小學校後三時
十九日　木浦公立小學校前十時
二十日　群山公立小學校後二時
廿一日　公州公立小學校後四時

▲双眼鏡▼
◎十五形　六枚玉　金十二圓
◎十三形　六枚玉　金十一圓
送料鮮内十二錢　外三十錢
右僅少荷著至急御下命願上候
京城太平通電話構内一八番
京城日報社代理部
振替京城三〇〇番

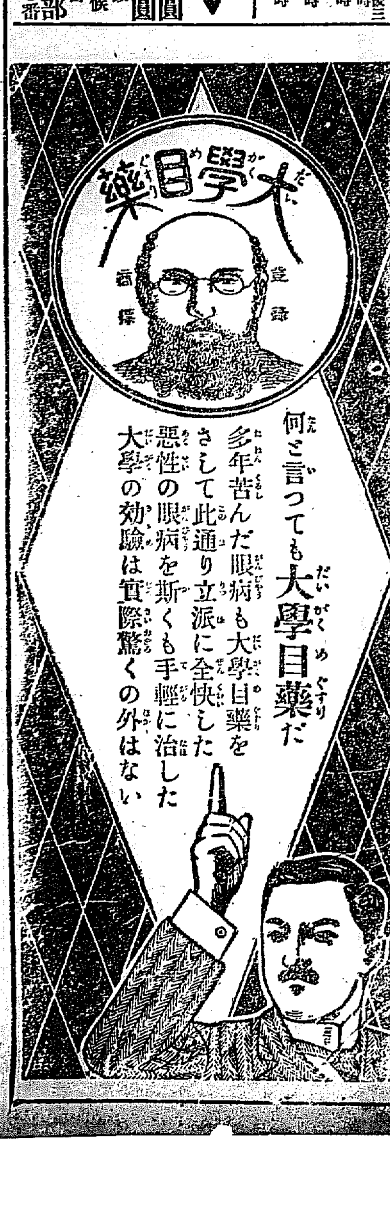
▲釜山商店案内▲

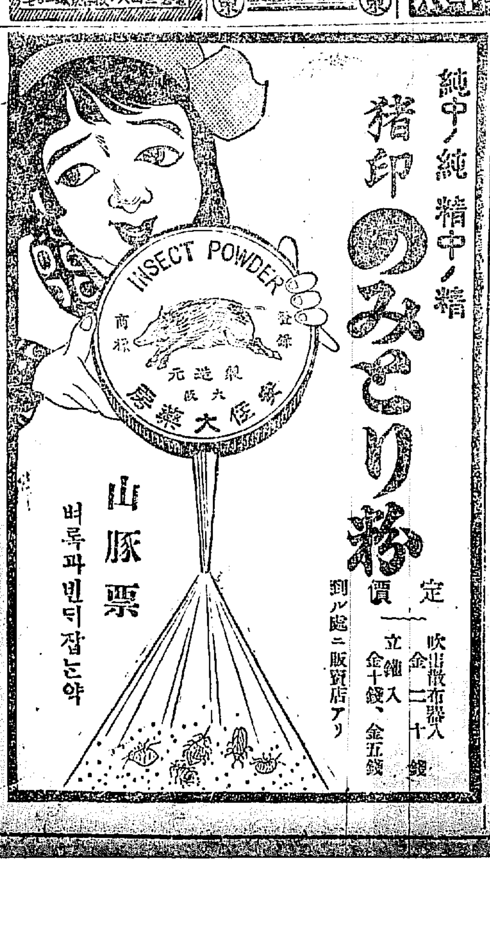
酒精、　壜入　燒酎
西貢米碎米　大豆　大豆食料品　雜貨
砂糖麥粉
釜山埋立新町　福榮商會　支部
電話長一〇八番

乾物　卸問屋
糖粉
煙草
雜貨
釜山　山西商店
電話七〇二番

洋酒
罐詰　卸商
糖粉
釜山　やまづあ

雜貨問屋
釜山六丁町　明治屋本店





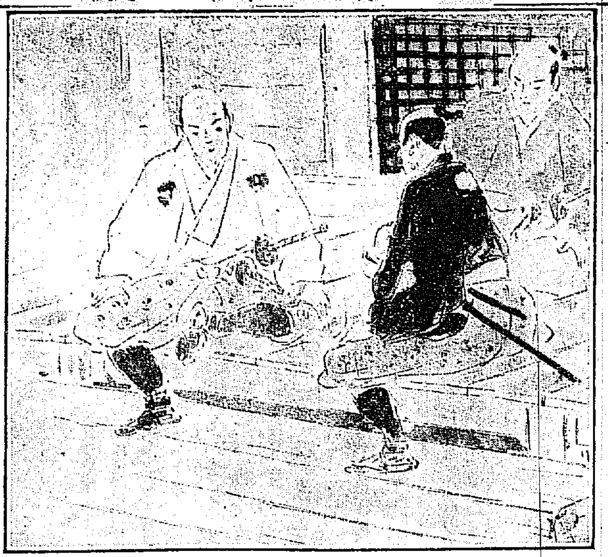
▲祈め　▲物は付「耳ざはりになるもの」　▲題（題をかけて）　▲一口噺（問題）

十一日　十二日　十二日　十三日締切　十四日　十五日　十五日　十六日

最後一週間以內に到着又は同案は見逃告者に付五十錢皆何號と明記に限る　京城日報編輯局懸文藝係

報　[illegible]

塚原卜傳



第百二席　悟道軒圓玉口演

打物執つては日本に双びなき塚原小太郎が一喝叫んで飛上り、打下ろしたる一刀にさしもの長慶眞二ツに割付けられ、アツと一聲叫ぶ間もなく後ろへ撞と打倒れる二言といはず息絶えたり、小太郎大音聲に　小『逆賊三好長慶を小太郎勝義斯の如く斬捨てたり、山名京極兩氏には主君の仇、早々來つて首を討たれよ』と呼はる聲に、喜んだる監物主水走り來つて左右より　監『恨みの刄受取れ』とブッツリ〱止めを刺し忽ち首を掻落す　長慶討たれたりと聞いて家來はハツ〱驚ろく處を鬼小島鐵の申入パ

ツタ〱と打仆し蹴倒し、此處へ飛來つて　彌『手出取らば飯盛より加勢後詰めの人數繰出し、退口難儀ならん、少しも早く此所を立退きたまへ』といふ一言に小太郎尤もと同じ、忽ち一方を蹴破つて引上げる、京極主水は何者か知らぬが倒れる女を肩に引掛け跡に續いて引上げる、處へ早くも注進に依り若江城より百七八十人の人數得物々々を持つて乘込み來り、逃さじと追來る、小癪なりと鬼小島、鐵、取つて返して割つて入り勇を奮つて打散す、其勢ひ宛然獅子の群羊を追ふ如く目覺しき働きでございます、名に負ふ豪傑に追捲られ三好方は微塵になつて散亂する、其間に足早に此處を立退きまして清瀧峠へ登つて一時身を隱しました、幸ひ清瀧觀音といふ御堂があるから此處へ來つてホツと一息付く、時に京極主水が連れて

來た件の女が笠を取つてよく見ると変こそ男でありますが白妙の妹お伊登　主『御邊はお伊登殿ではないか、何して此處へ……』伊『貴方は主水樣でございましたか』と驚ろいて取縋る、一同も不思議に思ひまして段々聞くと之々と仔細が判つたから小太郎始め一同もお伊登の男も及ばぬ勇氣に感じ入り其孝心を稱美いたしましたが時に監物が　監『さて塚原氏を初め鬼小島鐵　兩所の御助力に依り、見事長慶を討果たして此上の本懷はござらん、之れも偏に方々の御蔭でござる』主水も口を添へ　主『我々

の力にては到底討つ事叶はざりし、各々方の御力添にて漸々主君の恨みも晴れ此上の喜こびはござりませぬ』と泪を流して禮を述べる塚原が　小『イヤ何れも將軍へ忠節なれば功の大小は論ずるに足らぬさて山名氏京極氏には之れより如何なされる御所存か……』監『されば拙者は之より京へ歸り、義昭公を護立て、まづ近江なる佐々木一家を頼み細川殿と力を合せ殘る三好三黨を討たん覺悟……』小『成程まづ長慶が倒したれば其餘は大した事もござるまいから御考へは至極宜しからう』主『して塚原氏には』小『拙者も止まつて犬馬の勞を盡し奉りたき覺悟にてあつたれども僞々思へば拙いもまだ父土佐守の恨みを晴らすため佐竹彈正左衛門を討たねばならぬ身の上、忠と孝とを較ぶれば孝は私事ではござるが先づ長慶を討つたれば將軍

への忠義の一分は盡したるものとすされば甚だ勝手に似たれども之れよりお別れ申して東國へ赴き父の仇を討ち取り、其上にて再たび上洛なしまた應分の御力添へ仕るべく、一先づお別れ申したうござる』監物頷づいて　監『ア、御尤も忠孝双全とは小太郎殿の事、お引止め申し猶助勢は願ひたけれど父君の仇討といふ大切なる望みある御身なれば之れにてお別れいたすより外はあるまい』鬼小島鐵の兩人も　彌『然れば我々兩人の中一人は都に止まり、一人は塚原氏に隨つて東國へ赴くといたさう』といふと塚原堅く辭して　小『東國へは拙者一人にて充分、各々は都へ止まつて山名京極の方々に力を添へ逆賊誅伐の計を廻らされて然るべく乃ち謙信公への忠節でござるから其思召でお止り下さるやう』と辭退いたしました。

京染呉服　京城永樂町三丁目　たまや出張店　電話一一九六

六月十一日九星　舊五月三日己丑　本命二黒坤危先負

▲二黒　[illegible]　▲三碧　[illegible]　▲四緑　[illegible]　▲五黄　[illegible]　▲六白　[illegible]　▲七赤　[illegible]　▲八白　[illegible]　▲九紫　[illegible]　▲一白　[illegible]

▲廣告▼

忠州平澤間自動車開通
▲六月一日より（清州芙江に連絡）
忠州發午前八時　平澤發午前十時
平澤着同九時半　忠州着同十一時半
▲乘車賃壹圓五拾錢
▲御相談に依り貸切又は臨時運轉す
清州本町四丁目　電話五五番
忠北自動車組合

流經新藥レスノリン
月經　閉止四五ヶ月以内に確實の流經作用を以て容易く應用の目的を達し得られ他藥に優越せる効果を有す藥價一瓶壹圓廿錢送費内地十二錢海外卅錢切手一割増說書三錢切手添申越進呈振替大阪二六〇五四番
大阪北區曾根崎上一丁目三六地發行所　常盤藥院

るいれき病にて永年苦しむ方も手術せず肥大せる腺巴を萎縮消散せしめ後尿に泄じて溲外に出るる良劑あり郵券二錢封入者は三枚ルイレキ
に詳す　東京芝高輪北町　小牛堂

學者の創製したる白粉

美顏白粉

生れつき色が白いやうな白さに附く譯

一 從來の白粉より遙に色が白いからです美顏白粉は特別色の白い原料を使ふ爲め其色が誠に淨らかなホントウの白さですから顏に附けても其白さが出るのです

二 極めて美しい光澤があるからです。原料に高價を厭はず光澤の美いものを選んである美顏白粉には如何にも活々した光澤でお化粧を活す作用があるのです。

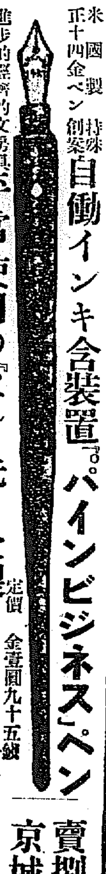
三 被覆力が強いからです。被覆力が弱いとノリやノビが惡く、充分に美しくは附かないものですが、被覆力の強い美顏白粉には然ういふ心配がなく、全完に化粧美を發揮すのです。

四 白粉の分子が極めて細いからです。白粉の分子は細い程ムラが無く綺麗に附くものですが、美顏白粉の原料は確かに是以上ないといふ細いものを使つてありますので、白粉の分子が斯も細いのです。

五 無鉛無害は勿論、其他の不純物が絶對に無いからです。從來白粉の原料には、如何にしても多少の銅氣や硫黄分が含まれたものですが、美顏白粉には其れが絶對に無い爲め誠に色艷美く附くのです。

美顏白粉を創製したる
桃谷研究試驗所
▲所長　藥學士　桃谷幹次郎
▲技師　理學士　西澤勇智志
▲同　醫學士　米倉昌達
▲博　千葉藥學士　小磯勝次郎
▲同　藥學士　齋藤鐐助
▲顧問　藥學博士　丹波敬三氏
　醫學博士　山本淳一氏

淋疾內用
ブレノリン
ドクトル松本需一郎先生の創案により製出したる本品は速に腸內に吸收分解せられて尿に強烈なる殺菌防腐性を與へ兼て尿量增加の作用あり、而して胃腸障害其他の副作用なきを特色とす。
急性慢性淋疾、消渴、膀胱、尿道加答兒等に賞用せらる。
宇野博士、緒方博士、櫻根博士は本品に對する治驗報告を寄せられたり。文獻贈呈す。
粉末錠劑の二種あり各地有名藥舖にあり
東京室町　三共株式會社



米國製　正十四金ペン　特殊創案　自働インキ含裝置『パインビジネス』ペン
定價金壹圓九十五錢
進歩的經濟的文房具の需要に加はり、而して此の金ペン先に金製のものを使用するの最も適切なる『一言を俟す』
製に到りては唯『パインビジネス』ペンあるのみ尚裝置せし『ペン』先を裝する軸エボナイトの背後に密接する
頗る理想的の高等文具にして金ペン先耐久力の期せらるゝのみならず一度『インキ』を含ますれば宜く數頁の使用に耐ゆる特殊創案の筬入物により
各銀行、會社、官廳よりの御用陸續たり
賣捌元　京城日報代理部　京城太平通　振替三〇〇番

汽車時間表
京釜線（南行）　同（北行）　京義線（北行）　同（南行）　京元線（北行）　同（南行）　湖南線（南行）　同（北行）　京仁線　馬山線　群山線　其他

京城日報
第五版
六月十日　朝刊
（朝夕刊を併せて八頁）

[illegible]の一般[illegible]を見たる[illegible]の需要増加せるを[illegible]に緩和せる金融の大勢には殆ど影響なく割引歩合は從前通り普通最[illegible]んと觀測され居れり（東京）

◉倫敦羽二重市況

[illegible]盛んなりしが月末に近づき邪魔[illegible]復活[illegible]依然[illegible]市況稍々沈靜の狀態を呈せしが西部戰場に於けるず前途の觀測に困難なる歐洲大[illegible]陸方面よりの供給少く船腹不足[illegible]に反し思惑筋の賣氣投げ依然續出[illegible]なるを以つて著衛の掛け引頗る宜の態なるを以て六日の市場は滅切暴落を示したり原因は取立てゝ云ふ[illegible]如し之れが決定を見るに於ては自

本紙定價　壹部金參錢・壹ヶ月七拾五錢[illegible]
廣告料金　[illegible]
發行所　京城太平通一丁目　京城日報社
印刷人　[illegible]

南北妥協機運
某支那通談

上海電報に據れば段總理は依然主戰方針を固執し新に徐樹錚を湖南平定司令、許蘭州を四川援軍司令、張懷芝を廣東討伐司令に任命す可く目下内閣の議決を求めつゝあるのこととなれども北京方面よりは未だ之れを確むべき報道達せざれば右の報道は遽かに信じ難く或は又何等かの誤傳なるやも知る可からず

▽主戰派打撃　假りに段總理は斯かる根强き主戰意思を藏するとするも既に曹錕、張懷芝以下の前敵將士に戰意なく殊に主戰派督軍倪嗣冲の部下さへ湖南方面より引揚を決行し這の徐樹錚をして遂に湖南討伐の目的を放棄せしめたる程なれば到底其意思を遂行する能はざる可し況んや段政府の唯一の强味たりし豐富なる軍資金は今や全く枯渇し而も其補給の途に窮し居る一方各省商務總會を初め南方に在りては李純、岑春煊北方に在りては徐世昌、周自齊、梁士詒等各方面に亘りて講和運動を試みつゝあるに於てをや

▽問題は條件　此點より見れば主戰派は既に全く手段方法に窮したるものにして此上は主和派の意志に從ひ南方派と和を講ずるより外途なかるべきが只講和の條件たる舊國會恢復の一事に關しては今尙快諾を與へんとする意思なきもの〻如し從つて問題は依然懸りて條件の如何に在り最近南方派を代表せる岑春煊が其條件問題に關し十分に考慮を重ねたる結果國會は近々其任期滿ち改選せらるべきものなれば假令舊國會を復活するも北方派に取りては何等の痛痒をも感ぜざる可し故に寧ろ北方派も此際一歩を讓り舊國會の恢復を快諾し議員選擧法其他を改正し穩便に新國會召集の手段に出づるに如かずとの意見を主張し各方面に之が運動を開始して大多數の賛同を博しつゝある模樣なれば或は一時斯かる條件の下に講和會議の開催を見るに至らんも計り知るべからず

▽主戰派態度　然れども是迄舊國會の恢復を欲せず依然新國會の召集に腐心し此目的を遂せずんば他迄南方壓迫の方針を棄てずと絶叫し來れる北方主戰派が果して能く岑春煊の講和條件に耳を傾くべきや否や頗る疑問なるのみならず頑固一徹の段總理の事なれば或は岑春煊等の運動に對して却て反抗運動を開始し形勢是なれば再び南方討伐を開始せんとするが如き擧動を敢てするやも知るからず蓋し大總統選擧の期近く迫れる今日舊國會の恢復は北方主戰派に取り一大不利益なるを以てなり從つて南北講和の機運は上記の事情により急に熟し來れる形勢となれるも其條件の爲め遽に之が成立を望む事難く或は却て逆に直隷、安徽兩派の大確執を惹起し南北妥協機運を有耶無耶に葬らしめんも測られず

獨逸の產業並に商權擴張策（九）
賀田直治

植民政策（十三）

獨逸の支那に對するや、斯の如く地の利を得たるに加へ支那人に對する物質並に精神上の指導は寬嚴宜しきを得、緩急悉く機に適せり、是を以て獨逸の膠州灣占領後に於ける山東省の人心は靜平なるを得、其の生產力は年々著しき膨脹を告げ、其農業の如き僅に十年にして一大變革を了せり。今日山東省の重要物產たる、麥稈、眞田、落花生及び落花生油の如き、生牛、牛皮等の畜產品及び棉花の如き其の各種農產品より諸種の工業に至るまで殆んど獨逸人の指導啓發に俟たざるものなく、其の結果省民の購買力を增進し、千九百零一年青島に於ける輸出入額は八百七十五萬六千三百八十二兩なりしも、千九百十二年に至りては五千六百三十三萬二百二十一兩を示せり、其貿易額の急速なる增加は眞に驚くべきものにして、獨逸が對支政策上成功せりと稱せらるゝ所以の一亦之れにあり、尙ほ精神上に於ける獨逸の對支政策は支那人を指導して獨逸の物質並に精神的文明に親炙せしめたるにあり。卽ち青島に於ては各種學校を設立し支那子弟の入學を歡迎し殊に獨支大學を設立して支那人に高等專門の科學教育を施し、支那人の智識階級に獨逸の勢力を注入せんとしたるが如き、又山東將軍と合議の上、省內各小學校に獨逸語を課せんとしたるが如き、未だ其の實現を見るに至らざりしとは云へ、又米國人の宗教的教育と共に對支政策上の一成功たるを失はず。之れを要するに獨逸の青島を經營したる目的は、對支政策を基礎として其の常に抱懷せる世界的政策を行はんとするにあり。則ち太平洋及び支那大陸を範圍とする地域に於て、政治、經濟上の優越權を得べき根據地を得るにありて恰も英國の香港を經營せると髣髴たり。而も香港の位置が支那の南邊に在る孤樹たる島嶼に過ぎざるに對し、青島の位置が支那の中腹に接壤し、其政策が常に此の遠大なる計畫の下に打算せられ、從つて其の施設が凡て根本的なりしは我が國人の對支政策上大に研究資料に供すべき所なりと信ず

以上の如く獨逸の殖民政策は非常に重要視せらるゝに拘はらず、所謂立ち遲れの姿にして、英、佛、蘭、西、葡の如く立派なる植民地を獲得して發展せしむること能はず、是れ獨逸の最も憤慨し、且つ決心の臍を侵略的世界政策に固めたる動機なりとす。卽ち

一、自國工業を發展し、通商的に海外に發展策を講ずること

二、世界政策卽ち世界に覇たるの計畫を以て、他國の獲得せる植民地をも侵略する企畫に出でたること

殊に英國の表面文明的にして內面侵略的たるの横暴冷酷なるの處置に對し、感情的不快を感ずること熾んにして他く迄競爭對抗せんとの決心を定めたること

三、和蘭、西班牙、葡萄牙等の小國を壓倒し、殊に和蘭の南洋植民地に垂涎し、何等かの機會に併合獲得せんとの野心を包藏すること

等なり。獨逸の世界政策換言すれば今回の戰爭は、一には植民地爭奪を目的とするものなること、卽ち正當手段に依り得られざるだけ强力を以て侵略せんとの野心を起したる所以にして、殊に對敵英吉利と利害相容れず、今後に於ても必らず不斷に競爭を絶たざるべし。或は恐る世界植民地の或る者は戰局の如何により、遂に獨逸の侵略併合せらるゝの虞なからずや。ドシ／＼海外に發展し、更に非常なる決心に立つ世界政策に依り、他國既得の植民地をすら爭奪侵略せんとの野心を有することを明白にして疑を容れず。

◆麻浦の渡し　＝麻浦にて＝　石田富造筆

並行線（四）
瀧閑村

『まア何を云つても仕方が無い、どうかして再擧を圖らうぢや無いか、君達も疲勞れたらう、私の家へ行つて晩飯でも食はう。』

火災から二日目の夕方山本社長は、燒跡の機械類を檢査してゐる二人に斯う云つた、機械類は据付けたまゝ燒けたが、或物は熔解し或物はミイラの如く黑い醜い形のみを殘して、モウ再び使用されるものは一つも無かつた、火事は印刷場式のゴタ／＼に火の始末に不十分な點から起つたらしい、山本も二三度警察へ呼ばれた結果、失火ときまつた。

『思切つて燒けたもんですね』

と高山は眞黒になつた指先で額に落ちかゝる髮を掻き上げ。

『思切つてと云つた處で仕方がないサ』

山本は笑つて見せた、それに誘はれて二人も輕く笑つたが、笑つた後が却つて淋しかつた。

『まア行から』

山本社長は跡始末を指圖しにから、二人と共に程近い停留場から電車に乘つた。北漢山から嵐して來る風は黄色な砂を捲いて人へも家へも打突けた。郊外の所々に見るポプラにも松にも、まだ春らしい色は漂つて居なかつた。

電車の運轉に伴つて起る震動と疲勞とは、ともすると三人を睡眠に誘はうとした、京城へ入るとそこゝに灯が見えた。

南山町の山本社長の家へ來て、順々に浴すると全身だるくなつて横のものを縱にするのも厭になつた。社長は大きな欠伸をして肘枕をした。

『皆も横になり給へ、あゝ疲勞れた』といかにも疲れたと云ふ風だつた。

そこへ膳が運ばれて、娘の靜子が少し化粧して出て來た。

『さアドシ／＼お酌をしてあげろ』と社長は自ら盃を擧げた。

『どうぞ池谷さん』と靜子は銚子を取上げた。

『高山君からどうぞ』

『まア君から』

『ぢやア失敬します』

僅かの酒に三人共快く醉つた一昨夜の火事とはまるで別の世界に棲む如く思はれた。浴後の微醺は全身の骨を拔き去る如く覺れた三人の間には會社の再興に就ての話が交はされた、仕方が無い、どうにかすると云ふ社長の語の裏に四分の一拂込を滅茶々々にしてしまつた今日更に拂込を求める困難がありありと讀まれた。

『モウ十分頂戴しました、今夜は是で御免を蒙つてまた明日働きませう』と高山は赤く染まつた頬を撫でた。

『まア好い、まア好い、モウ少し注いであげろ』

『高山さん、どうぞ』と靜子は侑るの。

『イヤもう可けません、さう頂くと腰が立たなくなつてしまひます』

『さうしたら泊つてゐらッしやいな』

馴れ／＼しい此語に、宣太郎は輕い嫉妬を覺ゑた。こんな調子の靜子の心が自分より高山に多く傾いてゐるか、どうかと云ふ注意を忘れることが出來なかつた。

電話に呼ばれて社長は起つた、暫くして座に還ると、

『會社の事で一寸私は出て來なければならないから失敬する、今夜は御免を蒙りたいが仕方がない、どうかゆッくりやつてくれ給へ』

と挨拶して大儀さうに別室に立つた。

二人もいゝ程に暇を告げて辭した、宣太郎は門口で宿の女中に會つた。

『池谷さん、電報です。』

寒夜讀史　中村喜四郎
喬松帶雪漏聲殘。自屋青燈夜欲闌。千古興亡無限感。參横月落不知寒。　蒼堂曰、讀書終夜、必有所得、

田園百絶（節一）　耕堂　和田三平
香播薙耕雛療飢。山園三畝寄生涯。機心遂日消磨盡。不問宰臣今是誰。　蒼堂曰、有眼看他世上人。

偶成　逸耕　小林道彥
獨閲古書思古人。古人未必異今人。唯將一貫忠誠意。教化蒼蒼天下人。　蒼堂曰、至誠感惡見貫之。

（◇雜誌抄）

◆交換手能率の心理學的研究（遞信交通新報）

品質無き故め朝は却て惡く、漸次良好となり午前九時十分頃を一日中の能率の頂點とす。て、夫れよりは能率漸次低下し來るが是は疲勞の生ずるに因るものにて午前零時三十分頃を最も良とし二時三時頃には稍良く夜に入りては不良に陥る、是は食物の關係もあるべし、又四季の中にては寒暖等の時が最も[illegible]元來筋肉の働きには華氏六十度を最適の溫度とし精神的の作業には四十度が最適の溫度とす而して電話交換の作業は恰も筋肉的と精神的との中間の働きに相當するを以て五十度位の溫度が最適の標準溫度と觀ると做得べきか

今や實業全盛の時代來れり志ある實業青年は速に來れ

一ヶ年卒業の實業講習錄

見本は無代進呈す
實物を見たき人は參拾錢送れ（第一號を送る）

特典　只今入會者は　△入會金免除　△水書草紙進呈　△奬學資金提供

▲本講習錄の七大特長
一、悉くカナ附で誰にも好く讀める
二、說明が平易親切でよく解る
三、學科は直ぐ實際の役に立つ
四、講師は新進の大家自執筆す
五、講義も常に最新最良
六、卒業が早くて成功も早い
七、顧問贊助員は一流の實業家

▲講習科目
商業簿記　▲經濟講話
銀行簿記　▲實業讀本
商事要項　▲商業英語
商業作文　▲商業數學
實業習字　▲實業史
珠算暗算　▲商業實務
商業地理　▲處世法
商品學　▲科外講話

總裁　大隈侯
副總裁　澁澤男

▲顧問　▲贊助員
法農學博士　新渡戸稻造
貴族院議員　鎌田榮吉
法學博士　高田早苗
男爵　大倉喜八郎
男爵　坂谷芳郎
安田家總理　安田善次郎
男爵　森村市左衛門
男爵　近藤廉平
其他博士、校長、實業家數十名

▲大附錄　書翰習字
筆跡の善い青年は採用早く惡筆の人は遲し此習字は文例を集め筆法字配りを敎へ手紙と筆蹟が同時に上達する方法を取る

會費
△一ヶ月分　六十錢
△二ヶ月分　一圓二十錢
△三ヶ月分　一圓七十錢
△六ヶ月分　三圓三十錢
△一ヶ年分　六圓

最新式通信教授
自宅獨習良師友

東京京橋區南紺屋町十二　實業之日本社內　帝國實業講習會　振替口座東京四〇一六番　電話京橋八七四・一五七八番

東洋大學教授境野黃洋先生著
天台四教儀講話
定價一圓五十錢　郵稅金八錢　和裝四百三十頁　全一冊

佛教哲學の最高潮に達したる者は實に天台哲學也此高遠深邃の天台哲學の綱要を撮り簡明に說き得て一句の剩語なき者實に天台四敎儀となす之を以て古來大乘敎の精髓に味到せむと欲する者は必ず本書に依る境野先生多年敎授の實驗を基として此講話を著はし學の人をして尙且つ五時八敎の大觀一念三千の玄理に於て眞に掌を指すが如き思わらしむ

東京小石川區原町六　振替東京一五六八六　丙午出版社
京城本町電六八四　振替二五七三番　大阪屋號

灌漑及排水用　田園用、家庭用、鑛山用　手押、足踏、タービン各種　ポンプ
松田式ポンプ
昨年は需用期に入りて御注文多かりしため品切れとなり御用を辯し得ざりし苦き經驗有之候に付本年は時日に餘裕ある今日豫め御用命被下度候
朝鮮特約店　金物直輸入　釘本藤次郎本店　京城

元朝鮮總督府技師明城出張所（紅蔘製造）長　富家正義著
朝鮮人參の飲み方　及米國に於ける進歩的服用法
朝鮮人參を服用するには最も効驗ある飲み方を覺へ込み自宅にて調合服用するをよしとす。本書には朝鮮支那古來の服用法、米國に於ける進歩的服用法を詳說せり。說明書希望の方は郵券二錢送れ進附す。
埼玉縣浦和　富家正義

原料貸與職業
前途最も有望なるパナマ帽子及ゴムの職業年中無休自宅就職製品引受工ゝ現拂熟練一圓五十錢迄確實案內書御一報次第呈す
大阪本町信濃橋東詰振替一〇七〇六　代理店募集　東洋物產合資會社

酸素療器　オキシヘーラー（商標）
本器は前島震太郎氏の發明に係り佛國及西班牙政府より既に特許證を交付せられ尙日、英、米へは目下出願中なり
▽治癒實驗例說明書贈呈△
▼オキシヘーラーは其効力の顯著なる本使用僅か五分間にして三乃至五耗の血壓を亢め一時間を繼續すれば實に十乃至二十耗の活力を增進す試に血壓計、脈波計等を以て之を驗せば其證跡の狀を明に計知せらるべし
▼靈妙なる酸氣應用の本器は斯して血液中の酸素吸引力を增大し健康の元素を補ふが故に難治の疾病を根治するに空前の偉力を有する論より實驗使用者は忽ち脈搏强實となり全身の溫暖呼吸の深長を感じ次で熟睡、解熱、鎭痛、食慾の亢進、兩便の快通等生理的本能を回復するの神迹なるは實に天下の奇觀也
▼特色（使用法簡易効力永久不滅にして電氣の如く消耗するものにあらざれば再び購用するの必要なく以外永遠に何等の費用を要せず）
■正價金參拾五圓■
他に類似の品を販賣する者あり注意せられたし
東京牛込區早稻田町（電停東町北）オキシヘーラー奬勵會　電話番町四八九・振替東京二七七一二

勸業債券
▼來月抽籤の組合月賦賣▲
五十八回　六十六回　四通組合初回四圓依規定直に番號通知次回二圓宛十八回
毎月二千圓のくじ樂める組賣
五十八回　六十六回　六十七回　六十五回　六十八回　六十四回　四通組合初回六圓依規定直に番號通知次回三圓宛十八回
十通組合　一ヶ年二十四クジを樂む初回十圓依規定番號直に通知次回より五圓宛十八回
東京市京橋區岡崎町二ノ二　日本勸業社債券部
振替口座東京三九六六〇　電話京橋五四二番

○英紙に掲げられたる　寺内首相會見談

英紙デーリー、メールは寺内首相との會見談を掲げたるが寺内首相は日獨同盟の如きは不可能なりと切言し予は英國に對する日本人の友情及び信義に何等の變化あるを認めず日本の運命は英國の運命と均しく懸りて聯合軍の勝敗如何に在り若し極東に於ける獨逸勢力打破せらるゝに非ずんば日本の將來は甚だ危險なり予が首相として大命を拜して以來現內閣が聯合軍の爲に竭したる處は實に予の此意志を實證す英國人が開戰以來其大軍編成の爲に努力せし事は予の嘆賞措かざる處なり其戰隊編成の成功は眞に驚嘆に値すと謂ひ首相は又戰局の進捗に關する質問に答へて顯著なる事實は獨逸の大攻勢が破されし此猛烈なる襲撃が阻止されし事是れ也と謂ひ最後に英國人の戰爭に對する空前の努力、犠牲、忍耐、勇氣を繰返して激賞せり、首相は吾人が一同擧つて聞ひつゝある處の主義が結局實現さる可きを確信し居れり（倫敦電報）

○聯合軍に鋼鐵供給
戰時通商局と鋼鐵會社協定許可

米國政府は戰時通商局と鋼鐵會社の協定を許可せり右協定は米國並に聯合國の鋼鐵の需要に應ずるを第一とし若し過剩を生せし場合は戰爭に關係無き工業方面にも均等に供給せんとするものなり（華盛頓電報）

○浦鹽有志七名捕縛

八日未明勞兵會は突然浦鹽の有志家七名の家宅搜索を行ひ是れを捕縛したる後其七名の中ロンピック、ナツワロフの兩人に對し左の如き訊問を爲せり曰く『勞兵會を倒す爲め外國軍隊を西伯利に出動せしめん事を各國領事團に申込みたる覺え無き乎又浦鹽勞兵會と對抗する計畫を廻らしたる事無き乎』と（浦鹽電報）

○チ軍の滿洲行妨害

浦鹽の過激派はチエツク軍がハバロフスクより浦鹽に向ふ事に就き同方面の過激派より何等の通報無ければ是れチエツク軍が滿洲に赴くものなりとし是れを不可能ならしむる爲めに電報を斷絕し汽車を不通ならしめたりと而して過激派はチエツク軍が西伯利亞の反過激派と氣脈を通せん事を惧れ且つセミヨノフ軍を援助するに相違なきものと信じ居れり（哈爾賓特電）

○ホルワツト長官吉林へ

東支鐵道長官ホルワツト將軍は副官其他の從者六名を隨へ九日午後二時來吉し督辦の東道にて公署に入りたるが用向は鐵道事務打合せ及び他に重要事項を携へ居れりと（吉林特電）

○濫發紙幣整理要求

張作霖氏等は八日政府に向ひ奉天に於ける殖邊、交通、中國各銀行の濫發紙幣整理として現金支出を要求し來れり（北京特電）

○孫文消息

廣東を去りて渡臺せる孫逸仙氏は八日基隆出發門司に向へり（北京特電）

○第六師團長決定

第六師團長の後任は山梨中將說傳へられたるも憲兵司令官小池安之助氏に決定せり（東京特電）

○齋藤少將北京行

哈爾賓に在りし齋藤少將は急電に接し豫定を變更し八日夜長春通過北京に向へり（長春特電）

○倉知鐵吉氏通過

中日實業重役倉知鐵吉氏は八日來長直に吉林および哈爾賓に向け出發せり（長春特電）

○倉知氏視察

中日實業重役倉知鐵吉氏は八日午時二時來吉し領事舘及び孟督軍を訪ひ九日午後二時發列車にて長春視察に向ひたり（吉林特電）

◎內地事業界趨勢
計畫資本增加

五月中に於ける銀行會社計畫資本は合計二億七百八十一萬七千五百五百圓にして前月に比し五千五百五十四萬三千圓を增加し又一月以降五月迄の事業計畫資本累計は十一億八千六百三十萬三千五百圓を示し前年同期に比し四億三千五百四十三萬二千圓を增加せり更に五月中登記濟計畫資本は二億一千八百十一萬一千百五十圓を示し前月に比し一億二千百四十一萬八千百八十圓を增加し前年同期に比する九千百卅八萬五千五百四十六圓を增加せり其業別左の如し（單位千圓）

業別	新設	擴張	合計
銀行	四〇〇	九六、三三	一〇〇、三三
信託金融	五、六三〇	三、四〇〇	九、〇三〇
紡績	一、九五〇	一、九五〇	三、九〇〇
電氣	五、四〇四	一一、一〇〇	一六、五〇四
瓦斯	六、八〇〇	一	六、八〇〇
鑛業	二五〇	一	二五〇
水產	一	一	一
鐵道	八、六〇〇	一	八、六〇〇
航運	二五、七〇〇	一	二五、七〇〇
保險	一	一	一
倉庫	二、二五〇	二、一五〇	四、四〇〇
製造工業	四、二一五	三二、七二八	三六、九四三
商業其他	二一、二五二	七、五〇〇	二八、七五二
計	八一、四五一	一三六、七〇〇	二一八、一五一

又一月以降五月迄の登記濟計畫資本は七億六千九百三十四萬一千六百三十八圓に上り內新設四億六百五十九萬五千三百四十八圓擴張三億六千二百七十四萬六千二百九十圓にして之を前年同期に比すれば新設八千九百八十萬七千九百三十四圓擴張二億二千四百六十四萬九千五百四十圓を增加せり次に五月中社債償還記濟額は三百四十八萬九千百圓にして前月に比し八百八十七萬二千二百二十圓を減少せり又五月中に於ける各種銀行會社の解散會社數二百十三資本金一千二百七十九萬二千六百十四圓拂込金額六百五十九萬七千百九十七圓なり（東京）

◎海事思想
養成研究を望む
布目少將談

海軍省水路部に布目海軍少將は既記の通り八日夜京城通過北行鎭南浦に向つたが其の車中談に曰く

今回自分の用件は鎭南浦方面でやつてゐる水路測量の狀況視察に外ならぬ即ち鎭南浦から沖の方可なり廣大な範圍を含んでゐる水路の測量をやると言ふ事は數年以前から其の

△必要に迫られて居つた既に着手はしてゐるがあの邊一帶は潮流も速いし潮の干滿も比較的著しい從つて風波も荒い譯であるから兎角測量は困難で今年の十月位迄はかゝるだらう。元來日本人の多くは海事思想に甚だしく缺けて居りはしまいかと思はるゝ勿論專門的の事は別としても或る程度迄の研究は是非必要である要するに陸の事若しくは陸軍の事に關する知識はあるが海の事若しくは海軍に關する知識に至つては何うであらうか或る一部の人を除いては殆んど缺乏して居ると云つてもよからう是れは豫々自分達の

△慨嘆に堪へぬ次第で陸の事と同樣に海の事にも幾分の研究と努力が欲しい此の間米國では驅逐艦が極めて短時日の間に竣成されると言ふ樣な事があつたが日本人は一寸此のやうな噂があつても研究と知識の程度が薄弱な爲め只前後の考へもなく之れを信ずるのであるが驅逐艦が日本で一箇月かゝるものなら米國でも一箇月かゝるだらう、此方で三箇月を要するものなら彼方でも矢張り其れ位の時日を要する筈である、併しいくら米國に鐵材があつても

△一週間や二週間で驅逐艦が建造されるものではない。米國邊りでは此の頃盛んに軍艦の建造をやつてゐるが軍艦ばかり幾ら造つても之を操る人がなくては何の役にも立たぬ又日本では工業の未だ誇るべきものを見出さない事が何より悲しむべき事である朝鮮には此の頃各種企業熱が興つて來たと同時に投資家も漸增して來たと云ふ事を聞いたが何よりの事と思ふ、獨逸の如き昨今は隨分大型の潛航艇を建造する事が出來るから先頃のやうに大西洋を横斷して米國東岸に出沒する位の事は何んでもあるまい金網を張るとか云ふ防禦策もあるけれど海の廣汎なる面積に亙つて之れを張る事は

△到底不可能事である自分達は斯かる消極的防禦策を講ずるよりも進んで積極的攻擊の態度を執らんことを望むので有る日本でも潛航艇の事に關しては研究を怠つては居ない筈である而し之れを以つて決して海戰の大局を決定するものではないのである

大阪財界便り
△兌換券膨脹の弊

本邦の經濟策は諸外國の緊縮經濟策と全然反對の方針を執り日本銀行の兌換券發行方針の如きは全く金融緩漫の勢を助長せしむる傾向歷然たり現在政府並に日銀の所有に係る正貨總額は十一億三千餘萬圓にて之し內地に在る正貨四億五千七百萬圓に上り日銀五月廿日の帳尻は六億千七百六十萬圓の兌換券發行高に對し之と同額の正貨準備額を計上し其保證發行額一億二千萬圓は全部發行力は餘裕綽々たるの狀なるが如きも其正貨準備中一億六千萬圓は在外正貨を繰入れて計上したるものにして之を除外すれば發行餘力を失ひ四千萬圓內外の制限外の發行と同一の結果を來すべし故に現在金融緩漫の根本的原因は日銀が人爲的に虛勢を助長しつゝあること明瞭なり在外正貨繰入を一擧に廢止する事は困難なるべきも漸次・繰入を減少して正當なる正貨準備を主とする發行方針に改むるを緊切なりとす時局後三十億圓に餘る事業計畫の勃興を來し一大膨脹の弊を助長しつゝある放漫經濟策は諸外國の緊縮經濟策と相容れず特に財界は絕頂を超越して下り坂に向ひ一種の迷路に入りし現狀に於て在外正貨繰入を全廢し金融膨脹の弊を改むるは刻下喫緊の經濟策たるべしと

△久原減配か

亞米利加政府は引續き銅價の公定相場を二十三仙半と制定しだるを銅價の低落より今期に於ける久原鑛業會社の業績は多大の注目を拂はれつゝあり春來銅の輸出は前年同期に比し減少し居れる關係と倫敦銅相場の釘附け關係よりすれば今期利益は前期に比し減少を免かる事能はざるべく先八百五十萬圓內外（拂込資本に對する四割二分）を豫想せられつゝあれば前期同樣三割五分の株主配當は不可能と言ふべく二割五分乃至三割の配當位なるべし

△支那棉代用有望

支那棉は其品質に於て、印度棉に劣らず產高は年八億斤內外にて海外への供給の餘裕少なきも更に作付反別を增加するの餘裕は綽々たるを以て日支合辦事業として棉作地の增加並に栽培法の改良を圖らんか本邦需要印度棉の過半數を支那に於て支辨するを得べし一昨年支那政府が棉作顧問として招聘したる米人ジヨブソン氏の調査に依れば支那の棉花は現時八億斤の產額なるも將來栽培を獎勵するに於ては必らず米國十億斤の量を壓する地位に達すべし現に支那の棉作地は米國テキサス州棉作地面積に二倍し尙擴張の餘地尠からざると共に天惠の多き事は米國を凌ぎ米國が天水を主とするに支那には灌漑の便あり又米國は勞働關係に依り生產高に減少を來し支那は其憂なし其他特定地方に於ける施肥の方法及び集約的農法等幾多有利なる事あり米國に於て一ベールの棉花を產する地積にて二ベールの生產を擧ぐるは容易なるべしと云ひ其有望なる事は爭はれざれば支那放資の必要喧しき場合綿絲關係者の一番奮闘を要すべしと（大阪支局）

◉養蜂事業好望

全羅北道は比較的氣候溫暖にして一年中を通じて草花の絕わざるを以て養蜂業の地として最も適當なるが近來此方面に著目して養蜂業者の數も著しく激增し來れるが從來は一般の養蜂業者は一時に暴利を獲得せんが爲めに無謀の分蜂及び採蜜をなすが故に其の結果不成功に終るの有樣にて此儘に放任せんか折角の有望なる事業も中絕するの止む無きに立ち至るやも知れざる現狀にあり之に關し當局の談に曰く昨今蜜蜂の改良種の價は二十圓前後の見當なるが一般の養蜂家は其の分蜂に就き經驗の淺き故に直に與算的の分蜂法をなすが爲めに失敗に終るものあり元來其の分蜂は一年間に二箱となすを最大限度とし採蜜の如きも之を年に二回とし一回一貫目位が適度なるゝし而して養蜂の有利なる一例を云へば元來普通の人にして一人前三十箱の養蜂には大なる困難なく至つて容易にして之等より採蜜する最低を見計ひて約年に三十貫目を下らざる可し目下蜂蜜の價額は四十錢乃至五十六錢なる故に一年間の收入となる而も朝晩の餘暇を利用して得るものなれば副業としても或は專業としても有利なるものなるかを確知するに充分なり

□開城より

朝鮮道民普及會長　井上圓了

（前略）爾來各所に於て、鮮人に對し日韓合邦の旨趣を說き、東洋の路に當りて東洋の再興を計り得るものは日本の外に一國も無之、東洋の命脈旦夕に迫るの日に當り極東の日本が獨り回天の責任を荷うて東洋の命脈を維ふの位置に立ち申候。然るに、朝鮮は東洋文明の上より見れば、兄弟の間柄なれば兄弟相合して、回天の功を奏せんとする爲に、合邦の擧を見るに至り候。是れ天の使命に相違無し今より朝鮮人は兄弟の實を擧げ、相扶けて此使命を遂せざるべからずと信じ候由を諄々說き居候拙者の主義は哲學館開設に際して賦したる拙詩二首にて盡くし居ると併說居候。

大道由來三教分、極東猶未喪斯文、從今當士峰頭月、照破泰西洋上雲。

處々東風拂雪吹、歐桃米李一時披、吾家別有老梅在、春滿三千年古枝。

◉元山大豆市價

元山市場に於ける客月中の大豆相場は概して相場の浮動高下を眺め只々出成行きの變化を見込れるもの、如くに迄最も多く取引されたる大阪神戶等少なく敦賀方面最も多し是れを要するに運賃の關係上僅かに移出しつゝあるのみなれば從つて價格も大ならず一等大豆十六圓五十錢三等大豆にして十五圓臺を維持し來れり然るに最近に至りては少しく氣配付き來れるも價格に於ては目下何等の變動なく依然保合の狀態にあり

◉木村理事出發

朝鮮銀行理事木村雄次氏は十日午前八時四十分發列車にて出發歸東す

◉吉田所長披露宴

新に東亞煙草會社朝鮮製造所長に就任せし吉田長治郎氏の披露宴は九日午後六時より朝鮮ホテルに開催、吉田氏の挨拶に次ぎ國分司法部長官の來賓代表謝辭あり餘興に筑前琵琶歌劇等出で九時半頃散會せしが來賓は國分松永持地各長官芳賀土城、渡邊法院長その他官民約八十名に上れり

人事消息

△大倉喜八郎男　九日夜入京朝鮮ホテルへ　△野村[illegible]氏（安東縣大倉組出張所長）同上
△井上圓了博士　九日夜仁川より歸京旅館一泊十日午前八時[illegible]へ出發
△田島秀雄氏（東京古河洋行支配人）八日夜歸京北行す

百聞百種

鐵道院の收入は豫定よりも四千萬圓の增收があつた支出も相當に增加するであらうが兎も角其激增振りばかりでも成金は船のみではない鐵道も慥に成金組の猛者に算へられる△そこで鐵道院は本月末、從業員に百二十萬圓を支給する事になつたと云ふが△鐵道の收入は主として從業員勞苦の結果であるから利益の大きい時に相當の慰勞手當を給する事は當然の事であるこゝ大出來の[illegible]△獨逸の潛航艇が米國ジヤシー沖に於ける活躍は忽ち我株式界に影響し郵船商船株は著しく下落した再び危險を氣遣うての沙汰であらうが餘りの神經過敏なりと云はなければならぬ△斯く如くであつたならば株式界の人には到底戰爭能力なく氣力なく日本男子の資格なしと云はれても仕方あるまい△天主敎の宣敎師は其任地が即ち自分の骨を埋める地であるから根柢が固く古い人が多い樣だ京城の佛蘭西敎會の宣敎師も四十幾年あの尖塔の下で暮して居る△外人中で一番永く日本に居ると云はれて居るのは山口縣萩の天主敎師ピリヨン氏で慶應二年に日本へ來て爾來五十三年間在任してゐるので伊藤公が未だ青書生だつた時代もよく知つてゐる△今年七十七歲の師が五六日前其五十三年間持つて居ると云ふ古色蒼然たる聖衣を纏うて突然下關驛頭に現はれたからタマラない最も嚴重な外人監視の眼を持つた下關外人係が什麼して見逃がさうソレと云ふので取調べて見ると右の老師と知れ脫帽敬禮

◉米船撃沈と保險

結局大部分ロイドの左右する所なるを以て[illegible]からず更に今回の獨艇の行動は一て撃沈せられたる隻數を檢するに[illegible]
貨物船　三五　隻數　總噸數　一二六、七七〇[illegible]

◉加奈陀曹達禁輸

北米[illegible]證を有する場合を除き諸外國向け[illegible]過甚だ良好なりと云ふ而して桑港[illegible]とし最終五月十二日にして發生[illegible]

公告

一金化地方金融組合登記事項中左ノ通リ變更ス
大正六年拾貳月拾日地番設定ニ因リ主タル事務所ノ所在地組合長理事及監事ノ住所ヲ左ノ通リ變更ス
金化郡金化面邑內里四八壹番地　金化地方金融組合、同郡同面同里四八七番地[illegible]
右大正七年五月參拾日登記
京城地方法院金化出張所

男外務員募集
月收百圓以上あり
希望者は郵券三錢送れ
東京市小石川區西丸町十四
公益通信社

領收證紛失公告
一當社第貳回拂込株金領收證壹枚
金壹千武百五拾圓也（株式壹百[illegible]分）朝鮮銀行東京支店取扱
番號第拾五號新井由三郎殿名義
右紛失ニ付來ル七月拾壹日迄當社ヘ屆出ナキ時ハ無効トス
大正七年六月拾日
京城府永樂町二丁目七番地
朝鮮紡織株式會社

精選純良　魯桑種子　一合六十錢　一升五圓五十錢　送料不要
秋蠶種及　尾張大根種子
△日錄雜誌申越次第無代贈呈
尾張名古屋市主税町
農產館
振替貯金　電話一〇五八番　東京一二〇四番　大阪六四〇一番

第十八期決算公告

貸借對照表　自大正六年十一月一日　至大正七年四月三十日

資產ノ部

科目	金額
諸商品及貯藏品	一、二三二、七一三・〇二〇
積送品	一九三、五六五・六三〇
諸貸金	一七六、七七四・八九〇
預ケ金	七〇、三〇九・五七三
受取手形	二〇五、八〇三・四四〇
假出金	八〇、四二二・四六四
委托品	二二、七三二・七二九
他店へ貸	一、一三二、一四三・五一一
地所、建物、機械、什器及諸有物	五六六、〇八八・六五〇
有價證券	一二、七八六・八〇〇
電氣線路費	八六、一四二・七八五
發電所費	二五、六〇四・五一一
水路費	三五、八〇五・七三九
特許權費	一、三〇〇・〇〇〇
建築費	四五七、七三五・〇三八
未達勘定	五一、九四五・七六〇
拂込未濟資本金	七五〇、〇〇〇・〇〇〇
金銀勘定	三八、六六一・三〇[illegible]
合計	五、一四〇、五三五・八四一

負債ノ部

科目	金額
諸借入金	一、三七九、四七七・七五九
假收入	一三、二一二・三九七
他店ヨリ借	二三三、〇九八・七一五
貸及歩戾シ	四一四、七五五・六五〇
支拂手形	三四、二一一・八六〇
未仕切金	一四、四〇六・四六五
資本金	二、〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇
諸積立金	七一〇、二八〇・〇〇〇
支拂未濟配當金	四七四・〇〇二
恩給基金	二五、八一八・〇〇〇
職工賞與金	一、四六一・三一〇
使用人及重役交際費與金	一二〇・〇〇〇
純益金	三一三、二一九・六八三
合計	五、一四〇、五三五・八四一

利益金處分

科目	金額
當期總益金	一、一四六、一八九・九六〇
前期繰越金	六四、〇六五・八〇一
當期總損金	八九七、〇三六・〇七八
當期純益金	三一三、二一九・六八三
內　積立金	四〇、〇〇〇・〇〇〇
所有物及器械償却積立金	一五、〇〇〇・〇〇〇
使用人賞與金、交際費	一〇、〇〇〇・〇〇〇
使用人特別賞與、重役交際費	八、〇〇〇・〇〇〇
職工賞與金	六、〇〇〇・〇〇〇
恩給基金	六、〇〇〇・〇〇〇
配當金（年一割五分）	九三、七五〇・〇〇〇
特別配當金（年一割一分）	六八、七五〇・〇〇〇
後期繰越金	六五、七一九・六八三

右之通リニ候也
大正七年四月三十日
㊀土佐紙株式會社
取締役社長兼高知支店監督　中內久太郎
常務取締役兼營業部長　中內彌三郎
常務取締役　上田虎次
取締役兼旭支店長　國吉虎太郎
取締役兼防支店監督　二階堂三郎左衛門
取締役　土居豐助
同　溝上與三郎
大阪支店長　中內松次
伊野支店長　森木恒之助
京城支店長　宇田龜吉
横濱支店長　長野嘉吉
佐川支店長　矢野彌吉
監理部長　宇田龜代滿
右監査候所相違無之候也
常任監査役　高根因平
監査役　井上作次郎
同　寶田通經
監査役高根因平、井上作次郎、寶田通經ノ三氏ハ任期滿了ニ付改選ノ結果何レモ再選重任セリ
前記配當金舊株一株ニ付六圓五十錢新株一株ニ付一圓六拾二錢五厘及別段積立金處分配金舊株一株ニ付八圓拾錢新株一株ニ付二圓拾二錢五厘六月一日ヨリ御渡シ可致候

支店所在地
高知縣吾川郡伊野町　伊野支店
同　縣土佐郡旭村　旭支店
同　縣高知市堺町　高知支店
同　縣高岡郡佐川町　佐川支店
大阪西長堀北通三丁目　大阪支店
山口縣玖珂郡和木村　藝防支店
京城府南大門通二丁目　京城支店
横濱市境町二丁目　横濱支店

最新刊
新案圍碁獨學び　出淵　五〇
圍碁上手泣かせ　關源六　六五
新撰圍碁全集　鈴木爲次郎　一、〇〇
本因坊秀哉講評　舊幕府御秘藏碁戰　定價一圓十五錢
圍碁妙選　方圓社編　四〇
圍碁中の定石　鈴木爲次郎　五〇
一手　高橋淸致　六〇
中川龜三郎著　布石攻合法　上下組　定價壹圓武拾錢
互先定石新法　岡部　六〇
置碁必勝布石要訣　二冊　一、二〇
新選圍碁定石講話　鈴木爲次郎　五〇
本見金　將棋必勝法　上下組　定價五十錢
布石戰爭打碁新評　廣瀬平治郎　六五
五目ならべ秘傳　三上堀石　七五
將棋奇謀　小野五平　四〇
將棋百戰百勝　將棋新報社　五〇
鈴木爲次郎著　極意新式　圍碁寶典　第一、二、三、各六十五錢
京城本町　大阪屋號　電話[illegible]　振替京城二五七番
（本店）東京（同店）大連、奉天[illegible]

定價表進呈
中村眼鏡店
京城本町
電話番號七番・振替京城三四六番

總督府御認可　衛生無害
ノミ取散　イヤナ
●郵券七錢送れば見本一[illegible]
室內の空氣中に少量を撒布せば十分間にて死す[illegible]
京城南米倉町交番所前　島田藥房
△特約店及行商希望の方照會乞

京城太平通一丁目
京城日報社代理部
振替京城[illegible]　電話[illegible]

▲呉服物一切昂騰の折柄特に御需用品の爲め研究の結果賣出候品に有之候
▲地方より御註文は[illegible]
仕立上げ　●金八圓九拾錢　送料鮮內十二錢外三十錢
一、單衣、夏羽織
△賃用　和服セル▽

年金恩給　最長期即時立替　利率極安　前引なし　保險不要
▲四年半迄　▲京城永樂町
商品陳列館前
江州屋本店

明治町
○はねつき　うちみ　くじき
一切の治療御依頼に應ず
柔術道場

魔法瓶　及魔法瓶中瓶取替
京城本町一丁目　電話一三四番
高木旅行用具店

玩具　ゴム　實用　各品御卸商
定價無料郵送　△夏向品大賣出
京城太平通二　電話二六〇六
大陽ゴム商會

製糸女工募集
十四歲以上二十二歲迄月收拾圓以上現在女工三百五十名あり（京城三坂通南廟横）
合資會社齋藤製糸社

◉店員入用　十四五歲より廿四歲迄の者履歷書携帶來談
京城本町二　ちゝぶや

◉信用貸金　御便利に御相談に應じ候御用の方は午前中に御來談
本町四丁目　我茶舖

電話質物あり御希望の方は義州通り吾鄉
電話武武參番へ

◉看護婦見習看護婦入用
南大門通（農銀裏）同生堂醫院

京日案內
普通　一回前金　五十錢
番外　一回前金[illegible]
▲申込後中途解約中止の節は料金不返[illegible]
▲六回以上の御申込は特に割引[illegible]
▲御照會は返信料にあらざれば[illegible]

保險率の飄騰も全く不明なるが米國船舶に於ける戰時保險と云ふも……あるものなるを以て單に表面上の……要數のみを以て著しく重大視す可……を觀測する向多し然れども……米國汽船の水雷並に潜航艇に依り……如し
……噸に過ぎず船種別にすれば左の……合計三十九隻四萬四千七百七十九噸の沈沒あり（東京）

◆本社主催全鮮圍碁大會＝（上）會場の一部＝齋藤四段の對局（下）（向つて右）

◉一百の碁客奮鬪す

本社主催全鮮圍碁大會の盛況　一等の榮冠高橋章之助氏に歸す

全鮮圍碁大會は夕刊既報の如く全鮮より參集し來れる約百名の非客は名譽の月桂冠を得んとて奮鬪大に努めたるが就中當日は從來の非會に於ては見る能はざりし有段者、多數參會したるを以て會員は意氣頗る緊張し流石に多數の手合せあるにも拘はらず一語をだに發する者なく大廣間は粛として烏鷺の音のみ丁々たりし對局中

◆最も興味を　惹きたるは齋藤四段と白南圭兩氏の對局なるが白氏二子にて奇手能く齋藤四段に肉薄したるも遂ひに中押の負となり、佐藤氏亦二子に手合せしたるも齋藤四段再び中押の勝を得原三段對大久保氏の手合せは局面大いに緊張したるが原三段大久保氏に一籌を輸し亞いで京城横山氏對仁川坪井氏の對局あり此の對局こそ當日の見物にて多大の感興を以て迎へられたるが遂ひに坪井氏奮戰大いに努め堅剛横山氏を鏖したり斯くて三勝者二十一名四勝者四名五勝者二名と

◆順次優勝者　を出し最後に全勝者高橋章之助（京城）塗谷陞（京城）兩氏の決戰あり高橋氏遂ひに塗谷氏を鏖して一等の榮譽を贏ち得塗谷氏二等谷田平藏氏三等にて盛況を呈したる全鮮圍碁大會も午後十一時目出度終りを告げたり

▼望外の成功　山平壽氏談

多大の期待を以て迎へられた全鮮圍碁大會も盛況裡に散會を告げたのは審判員たりし我々の最も滿足に思ふ處であるが當日は仁川より原三段が見え鮮人碁客中の一人者白南圭氏も參會したのみならず折能くも

◆齋藤四段が　滿洲方面からの歸途入京して本會に列し白南圭氏と對局せられたのは望外の成功と言はねばならぬ然して特に一言せねばならないのは本會は紳士の集りで手合は極めて静粛であつた事普通五回の對局の場合は全勝者が一割出來る者とされて居るが點數に遺漏がなかつた爲め突飛な勝負がなく全勝者が只

◆僅かに二人　に過ぎなかつた事等で此點は審判者の詮衡が公平であつた事と信じ得る尚齋藤氏對白南圭氏の對局の棋譜は紙上に發表される筈であるから何れ讀者の一粲に供する事であらう

◉長春の日蝕　長春の日蝕は九日午前四時三十分分蝕を見同五時蝕甚し同五十分に至り復圓せり（長春特電）

◉前府議員收監　京都府會議員瀆職事件にて前府會議員北村利太郎布子猪三郎收監さる（京都電話）

◆全く日本化された

＝滯留十六年＝　京城の領事代理ガロアー氏語る

今度東京の佛國大使館から京城の領事代理として赴任した東京佛國大使館附書記官兼通譯官のエドム、ガロアー氏を途中に出迎へる

◇ヴエルダンは陷落しません

氏は肥滿な立派な體格と豊かな顎髯とを具へて居て一見する處佛蘭西人だとは思へない樣な氣がした面かも其の柔和なまなざしと謙讓な態度及び其の言葉には對話の後に深い印象を殘してゐる、車中には夫人と愛兒二人及び日本人の附添二人を加へて一行六人の旅行であつた氏は流暢な日本語で

◇朝鮮は今回が始めてです全然勝手が分りません、戰爭の模樣ですか私も大分永らく踊りませんので此うとは申されませんが相當な覺悟も自信もあります、先達ヴエルダンの戰爭の時陷落するとかせぬとか賭をした事もあつて私は『せぬ』と斷言して置いた位です私も日本に參りましてから十六年にもなります十六年も居たら

◇日本化せられて何等の刺戟もない樣になつて行くもので從つて特殊な感想も無くなつた譯です只一口に云ふと日本は良い處です私が始めて神戸へ上陸して停車場へ行つた時驚いたのは人々がホームを通行する音の騷しさカラコロ〳〵で全然人さんの云ふ事は離張り聞き取れぬ之れには少からず弱らされました、ソレから其の冬でしたが

◇人毎に袖の中へ　手を入れて縮つて忙しさうに小走りで歩いて居るので當時私は『日本には餘程激烈な戰爭があつたものと見ゆる國民皆兵の日本人は逢ふ人毎に兩手を落されて氣の毒なものだ』と斯う思つて居た今考へて見ると馬鹿臭い樣ですね

◉全鮮監獄職員演武大會

九日京城監獄にて

◇劍道と柔道

典獄會議列席の爲め全鮮各監獄典獄の入京を機として京城監獄の主催で九日午後一時から京城監獄の道場で全鮮監獄職員の武術大會が催された

◆參加した　劍道並に柔道の勇士は西大門、京城の兩監獄を初め、平壤、海州、大邱、釜山、光州、公州、咸興及び永登浦分監の各監獄職員を主として在京城の警官練習所、本町、鐘路、昌德宮の三警察署、龍山、京城兩分隊、憲兵隊司令部、警務總監部、京城憲兵隊本部、京畿道警務部、京城龍山兩中學、軍司令部、鐵道館、御所、武德館、東洋協會京城專門學校等から腕利きの職員が雲の如く集まり

◆來賓席に　は總督代理として高橋武官、國分司法部長官を初め、中村京城、勝大郎の兩檢事長、司法監官、會議にて、目下入京中の各法院長、檢事正並に各監獄典獄、總督府及び警務總監部の課長兩三名京城府內の各隊署長等綺羅星の如く居並ぶ、軈て定刻となれば、劍道審判官岡見力太郎氏の

◆打太刀と　同じく陣之內鹿雄氏の仕太刀とに依つて大日本武德會制定の帝國劍道の型があつて演武の幕は切つて落された、夫れから劍道の三本勝負が四十二組と勝星の輪轉試合は何れも龍虎相搏の奮闘振りに火花を散らせ場內の氣分が頗る高潮となつた頃當日の

◆劍道審判　員なる東修校の高橋虎彥、對本町署の村上德次氏、京城監獄の岡見力太郎氏對京中の松井松次郎氏、武德館の陣之內鹿雄氏對務總監部の篠崎仁平氏の三組の模範試合にやんやと割るゝばかりの盛況を呈し、夫れが終ると引續き場面は柔道となる此の方が同じく

◆三本勝負　で十五組で夫れが濟めば柔道の審判員なる警察の三段岡田勝利氏と本町署の三段永島尙兩氏の模範亂捕、西大門監獄の二段渡邊和松氏の取と警務總監部の二段清水重雄氏の受で形道の投げの型、京城中學の四段岡村德作氏の取と警官練習所の三段波來谷榮勝氏の受けで講道館の極の型が何れも鮮やかに演ぜられた、終れば勝星の輪轉試合に又一しきり賑はひ午後五時半頃盛況裡に無事打ち出した

圍碁大會の審判員（前列右より）原三段、山三段、木本氏（後列右より）森下氏、中村氏

◉妙心寺

禪堂上棟式

◇棟上から餅撒き

小原鳥兎長官、森安建城師士、小林藤右衛門、大村商議書記長、深水清、阿部本社長、中村毎日申報監事の諸氏が委員となつて各方面から一萬餘圓の淨財の喜捨を募り本年四月上旬

▼▲地鎭祭　を擧行して禪堂建立に着手した水標町の臨濟禪宗妙心寺ではその大部分の組立が終つたので九日午後一時半から

▼▲上棟式　を擧行した、定刻の一時半になると轟々と響き渡る法鼓に運れて一同著すれば後藤瑞巖老師は約三十分に亙つて

▼▲大般若　經を捧げ終れば建立委員一同の燒香、深水委員の建立經過報告ありこれにて式を終りる、京城市中を一瞬の下に俯瞰し得らるゝ棟上に於て

▼▲餅撒き　ありこれに續いて來會者一同にお齋の接待があつた當日の參會者の主なるものは芳賀博士、目下入京中の鳥山平壤覆審法院長、趙重應、權重顯の兩子爵等であつた

◉平壤中學校　寄宿舍參觀（二）

＝模範と稱せらるゝ規律正しい生活

居室兼寢室を通り過ぎた時に三方から廊下の集る處に一段低い二坪ばかりの一室があつて數脚の卓子と椅子とが配かれ三四の生徒が提灯の整理やら座珠の整理やらをやつて居る

◆週番室　だそうで週に當る寮の寮生長及び下級生一名を週番に當らさる寮の上級生下級生各一名を以て組織されて各寮の秩序、衛生、警備、炊事其他諸般の寮に關することになつて居る假令へば部員を指揮して迅速に命の傳達を行ふとか起床喇叭さ確に起床を巡視し、當直監に報告するとか

◆朝の禮　夜の點呼の際各寮生の點呼終るを待ちて當直生徒監に報告するとか夜の點呼、食事の際寮生を代表して敬禮を行はしむるとか就寢後、寢た巡視をし當直生徒監に報告するとか云ふことを司ることになつて居る、それから右に折れて背後陸器の陳列せる廊下を更に左に折れると其處は

◆病室に　なる一寸參觀したが二三の病生が氷嚢で頭部を冷やして居る風邪か何かで發熱して居るものと見ゆる醫師は慈惠醫院の醫官が校醫を兼ねて毎日來診することになつて居るとのことである今來た廊下を引返し週番室の處から折れて右手に衝き當つた處が當直室前は食堂であるが本館が建築中なので臨時教室に充てられてある其の隣りが食堂で其の前が洗面所衝き當りが

◆入浴場　になつて居る、食堂は明治……しなしの卓子に腰掛けて食事をすることになつて居るが朝食は午前七時二十分に朝の禮が終りて整列の儘食堂に入り各分室毎に指定の位置に脱帽して所定の席に着き週番の號令により敬禮を行ひ食事終るを待つて又號令に依りて同じく敬禮して靜かに食堂を出ることになつて居ると説明して呉れる、最後に友樂寮を參觀した

◆友樂寮　は舍內の圖書室とも云ふべき所で重に精神修養に關する書籍類や其他中學生に讀ませて差し支へない各種の書籍を備へ付けて寄宿生も通學生も共に入ることを許されることになつて居る此處は此の寄宿舍の正面樓上で一處は校長室になり友樂寮と校長室の中間廊下には前總督の筆になる

◆『至誠如神』の大額が掲げられてある普通は故から始まつて次第に參觀するのが順序らしい次回には新任生徒監須山先生の寄宿生の日常生活の模樣に就いてその大要を述べて見よう（一記者）

◉金銀細工

製品々評會

＝出品點數千五百

巧緻を極めたるものあり

京城府內に開業せる朝鮮人の金銀細工商を以て組織せる京城金銀細工商組合にては技術獎勵のため九日午前十時より午後三時まで仁寺洞明月館支店に

▽製作品　品評會を開催し開會後同所に於いて褒賞授與式を擧行したるが開式劈頭組合長李宗錫氏より開會の辭及び審査成績報告、褒賞授與あり之れに對し來賓を代表して松永道長官、生田商工課長、李完用伯、趙重應子等の祝辭及び

▽受賞者　總代金泰煥氏の答辭等ありて閉式、それより宴會を開き妓生の餘興等ありたるが今回の出品點數は總數千四百五十點出品者九十五名にして出品物の主なるものは朝鮮在來の金銀裝身具什器並びに現代流行の金銀

▽裝身具　什器及煙草入の如き類にして可なり精密巧緻を極めたるものあり受賞者は一等六名二等九名三等十二名合計二十七名にして最初の品評會としては成功なりき

☐紳士體操　記事輻輳休載

製品多數在庫
株式會社 川北電氣企業社
本社資本金三百萬圓
小倉出張所
九州小倉市島町一八一
電話長六八

謹告
謹啓弊所從來渡邊文治氏拙者ト協同經營在龍候處今回同氏死去セラレタルニ付六月一日ヨリ拙者個人ニテ經營一層奮勵可仕候間何卒舊ノ御引立ノ程願上度此段謹告候也
追テ左ノ物品ハ格別廉價ヲ以テ販賣可致候
一、胡麻油　一、荏子油
一、菜種油　一、棉實白絞油
一、大豆油　一、大豆白絞油
一、ボイル油　一、荒麻子油
一、機械油　一、東柏油
一、糠油　一、並ニ油粕
京城府南米倉町
京城製油所
安達熊太郎
電話一六三〇　長一九一七番　五九五

瀨戸外科皮膚科醫院
（診察夜九時迄）
京城旭町二丁目（舊三丁目）電話二四九八番
醫學士　瀨戸潔

風味芳烈

神戸鈴木商店京城支店

◎繭
賣、買、周旋、問屋、乾燥
龍山驛前
東亞蠶絲株式會社　京城支店
（長電話百二十番）
電略トア振替口座京城五二九九番

滋養強壯劑レグモン
レグモンは京都醫科大學教授森島博士より推奨せられし滋養劑にして肺病、腸結核、衰弱等の病患者をして回復し體質をよくし身體強壯に……
定價　百五十入　金貳圓拾錢
詳細の說明書あり郵呈す
發賣元　大阪市道修町　武田長兵衞

富の道しるべ　山縣五十雄、村上唯吉共著　價十五錢　郵税二錢
京城太平通　振替京城三〇〇番　月報社代理部

國債拂込影響

金融市場は過般來大に緩和し來れ[illegible]て其日歩は前日に比し一二厘高の低一錢六厘に保合ひなり尚ほ拂込[illegible]翌日拂九厘無條件九厘九毛普通一[illegible]後市場は再び緩和の形勢を呈し今[illegible]

川俣、加賀、越前等日本羽二重の[illegible]倫敦に於ける市況も限し其の筋へ[illegible]戰闘開始のため市況は形勢見送り[illegible]の變にて今月に入り可なり多くの[illegible]もかるべしと

◉製粉市場暴落

[illegible]り不勢に傾き七八限は安値四圓八[illegible]十錢と前日に比し二十錢方崩落を[illegible]ふ程の事なしと雖も頃日來の不勢[illegible]買氣を著しく減殺したるに反し[illegible]然倉庫品が新に引渡し可能となり[illegible]爲めに在荷益々増加の結果となる[illegible]

妻の心（四）

小林蹴月作　武内桂舟畫

（一）の四

『阿母さま、その御心配は、御道理です。重々御道理では御座いますけれども……。』と、禮子は、心の切なさを怺へて、無理に押返すやうに言ひつゝ、隠さうと爲れば爲るほど、いや烈しく堰きかけて來る涙を拭つて、

『……御座いますけれどもね、阿母さま、良人の今日から考へて見ますと、只一個の町川久三郎でなく、現に日本國の代議士と云ふ位地と名譽とを荷つて居る身の上ばかりでなく、實業界の方でも、相當の活動家として立てられて居るんですから、例へば阿母さまの被仰る通り、多少裏面的の好くない事があるに爲ました所で、妻たる、妾としては、出來る丈の辛抱も致し、家庭内の恥を世間に知らせぬやう心掛けるのが、當然の務めだらうと存じますので……。』

『そ、そ、それが第一お前の首の突ッ込み所が違つて居るんです。成程久さんの今日は、お前の云ふ通りに違ひないでせうが、その今日の位地になつたのは、誰のお蔭だと云ふんです。根本の恩義を忘れて……少しばかり、人に名を知られるやうになつたからとて、藝妓狂ひか妾狂ひかは知りませんが、家を外に爲るやうな碌でなし漢は、お前が承知でも、妾が承知能きません、今にも久さんが出先から歸つて來たらば、否應なしに妾に一寸會はせて下さい。』

喜久子の腹立は、物を云へば云ふほど、益々激烈となるばかりであつた、温良なる禮子は、復び居を噤むで、盈を差俯向くより外に途はなかつた。併しながら、若し此の儘で母の云ふなりに打捨て置いたら、什うなるであらう？禮子としては、其處を第一番に考へねばならなかつたのである。父親の生きて居る頃から、男優りと云はれて居た氣丈一徹の母と、氣短かでして、些細な事には無頓着な主義を取つて居る良人の久三郎とが、一たび衝突の火蓋を切り出した曉には、什うしても尋常一樣の事では、納まりの著きやうはないでもあらうし、仲に介在つた自分の上にも、無論双方からの外れ玉が打突つて來るに違ひないのである。その時、妾の身體は什うなりゆく事であらう？只さへも心配と氣苦勞とに疲れぬいて居る此の身體は一堪りもなく卵子の殻のやうに崩れ潰はれては了はないだらうか？云ひ出したら、母も後へは退くまいし、良人も滅多に後へ退くやうな氣質でないのは、妾が七年以來、染み込んで居る事ゆゑ、今後は知らず、今日の所だけは、命に換へても、妾が一切の責任を負んで、激しきつた母の心を柔げて置くより仕方あるまい……禮子は、背に腹を代へられぬ苦悶と懊惱の揚句を、纔かに斯う覺悟し直したのであつた。

『阿母さま、妾の申しやうがわるかつたので、一層阿母さまのお腹立を増したやうで御座いますが、或程考へ直して見ますと、一々阿母さまの被仰る通り、町川家あつての町川久三郎に違ひ御座いません。今晩にも若し良人が歸りましたら、一應は先づ妾から、良人の精神を聞き糺しました上に、出來る丈の意見も致し、阿母さまの被仰つた事も篤と申し傳へますから、此の事に就いて、阿母さまと良人とお會ひ下さるのは、少時の内御辛抱遊ばして下さい、情願……情願是丈は、妾から特別のお願ひで御座います。』

斯う柔順に出られて見ると、喜久子も流石に他人から貰つた嫁とは違つて『成程、それも然うか』と首肯く點があるらしい。

『そりやね、お前さへ確乎してお在なら、久さんだつて固より根からの放埒者ではあるまいし、多少は心に思ひ直す事もあるでせうでは、お前の語に從つて、妾はいま少時の處時機を見て居ますから』

禮子は、母が漸く我を折つて呉れたので、先づ一喘の苦患は遁れ得たと思つた。と、斯る大いきさつの最中とも知らずに、母宅の小間使が手に一通の電報を携へて、急ぎ足に庭口から入つて來た。

『奥さま、お電報が……。』と、差出すのを禮子は、何事にやあらんと胸騒がせながら、受取つて披いて見ると、

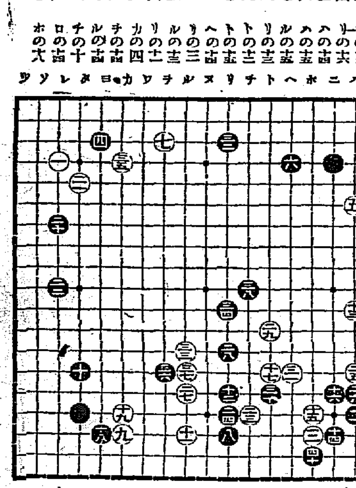
『キウヨオアリ、ハコネヘユク、ニ三ニチカヘラヌ……久三郎。』として、宛名は云ふまでもなく禮子とある。口の中で大急ぎにそれを讀み了つた禮子の唇は、見る／＼血の氣を失ふ。

碁戰（二）

（大正七年五月二十二日　京城於紀本龍太郎氏宅）

二子　五段　柯亭　瀬原吉氏
初段　佐藤伊織氏

○二一　タの五
●二二　レの十
○二三　チの十六
●二四　リの十六
○二五　ハの十四
●二六　ハの十五
○二七　ルの十五
●二八　リの十三
○二九　トの十三
●三〇　トの十五
○三一　への十四
●三二　リの三
○三三　ルの十二
●三四　リの十一
○三五　カの四
●三六　チの十四
○三七　ルの十四
●三八　チの十
○三九　ロの十四
●四〇　ホの六



愈好評の經濟的事務用（金ペン付）
パインビジネスペン
定價　壹圓九拾五錢
京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部

讀者の領分

▲本年度徴兵檢査合格者は、龍山にて受檢せし者は龍山に入營するとの事なれども朝鮮にては都合惡しく候に就き故郷の聯隊に入營したく候が如何に候や軍司令部職員の御教示被下度候（本年受檢者）

▲本月五日午前十時頃岡崎町大二商會前に於て[illegible]大殺しがマグラなる洋犬の鑑札あるものを打倒し箱の中に入れたるを目撃せり而して鑑札は取はづし居るを以て見兼ねて注意せしに暴言を以て之に答ふ飼主たる者は相當税金を出し大事に飼ひ居るに實に殘念ならん若し相當手續なさんと考へなら小生證人として御力添へなさん飼主の方は本欄に申込あれ（愛犬同情生）

新刊紹介（到着順）

◉實業青年の活躍　歐州大戰亂が長延けば長延く程我が日本の實業は益盛大多忙となつて來た、多忙なる實業界での勝利を得る者は青年者の元氣と新知識とによつて働き得る所のものであるから、東京市京橋區南紺屋町大日本帝國實業講習會では、職業に從事しながらでも出來る樣に同會獨特の最新通信教授法により現代の實業に最も必要缺く可からざる學問を悉く集めたる實業講習錄を月二回發行し習ひつゝ直ぐ實際の役に立ち自宅に居て學校同等の學力を養ふ我が實業界の頭に要求しつゝある人格ある模範的の青年を迅速に養成しつゝあり、その會則附き見本は同會へはがきで申込めば無代で進呈すと

▲朝鮮及滿洲（六月號）勢力の節約と其の效用、平凡なる日支親善協約（井上博士）を伴うて總督府を訪ふ（釋尾旭邦）外に大隈侯、松川軍司令官、安藤鮮銀總裁、金井鐵道院參事、野田技師、井上博士等の有益なる意見及び女子大學出の人々（一寸法師）（ひばり）滿洲名校の日記（七草）京城の女醫調べの看護婦評判記（七ハ）（一〇〇）小說寄書等の趣味の記事にて京城南山町一の一四　朝鮮及滿洲社

▲朝鮮公論（六月號）漫京半年（牧山耕藏）外に原敬政友會總裁、山本達雄、中橋德五郎、永井柳太郎、戶水寛人、[illegible]課長、村瀬遞信局長、國分長官、渡邊法院長等の有益なる所說何れも傾聽すべく有馬秀雄氏の人物評の外に紳士物語（櫻井博士、後藤外相批評、松岡[illegible]）等の興味ある記事あり（三十錢　京城本町通二丁目　朝鮮公論社）

日報俳壇

□群山望海吟社句集
風薫る

湖に遊ぶ兒等の聲や風薫る
城趾旗樓頭高く風薫る
高空に鷗音低く風薫る
御成の間蘊千疊や風薫る
風薫る的を外れし乙矢
薫風や若侍が大刀釣き
薫風や蹴鞠の公卿雅親く
蚊釣る竿に腰や風薫る
げ田梓手や腕下風薫る
帆なみしたし風薫る湖上を辷りけり
薫風や額くだれし地摸獣
薫風や洗髪して鬢に結ふ
放つ矢のうなりや風薫る

小湖摩　旭民　旭水　槿螢　探月　醉涙　仙于　深螢　揉水　砂面　兎河　犬河　大舟

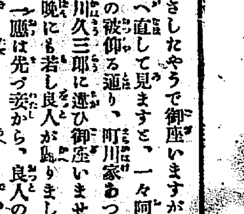
追句
薫風や白粉溶ける皿乾く　對山居

髪は黒く長く

（ミツワ文庫七ノ六）

頭髪を喜ばせる洗髪法
尖端は時々鋏んで置く

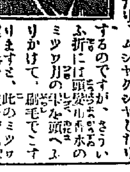
中村福助談



頭髪は御婦人の寶で、したがつて其のお手入の大切なことは、今更申し上げるまでもございませんが、殊に此頃の濕々した梅雨時などには、少し構はずに置きますと、埃や髪油や汗や脂肪などがこびりついて、●●●やになつたものが、濕氣を呼んで皮膚の機能を妨げ、頭の地が痒くなつたり雲脂がたまつて皮膚の分泌が妨げられたり、甚だしきは、そのために、頭髪が赤ちやけたり枯れたりするやうなことになりますから、精々お手入に注意なされて、一週間に一度ぐらゐは是非お洗ひにならなければなりません。ところが其の洗ひ方でございますが、舊式の洗料などを用ひて、無暗なことをいたしますと、却つて毛髪を傷めるやうなことになります。洗髪法として、最も理想に適つた完全な法を申し上げますと、先づ盥か桶に湯を湛へまして、此中で、品質の優良を以て聞えたミツワ石鹼を溶きまして牛乳のやうな液汁を作り、豫めよく梳して置きました頭髪を、頭の地の浸りますくらゐ、とつぷりとつけて二分間程置きます。それから頭髪を掻き分けながら刷毛に石鹼汁をつけつけ頭の地を擦り一わたり濟みましたならば、今度は櫛に石鹼汁をつけて、根元の方から尖端の方へ向けて、素直に梳しますと、ミツワ石鹼特有の作用で、汚垢はすつかり石鹼汁に溶け込んで黒ずんだ雫が毛髪の先から滴れるやうになりますから、それを程度に、湯なり水なりを度々かへて、少しも濁を帶びないやうになるまでよく洗ひました後、タオルで拭いてさつぱりと乾かします。此間に注意しますことは、髪を揉んだり、早く乾かさうとして、日光に晒したりしないことでござい

ます。それから頭髪は、洗ひました度毎に、尖端の方をほんの僅か鋏で切つて置きますと、毛髪が刺戟されて、大層延びがよいと申します。

▲中村梅玉曰く　降つたり止んだりの、鬱陶しい此頃の季節には、頭の具合が妙に重苦しかつたり、ムシヤクシヤしたりするのですが、さういふ折には頭髪にミツワ香水の雫を頭へふりかけて、刷毛でこすりますと、此のミツワ月の雫が、頭の地に爽かに泌みまして、すつとした氣分になります。此のミツワ月の雫には、過度の雲脂な[illegible]を防ぎ、毛髮の發育を助ける作用があります

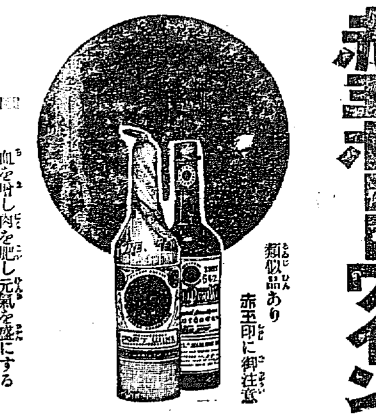


▲發賣品目錄送呈　東京橘町　丸見屋商店▼

ことでございます。さて毛髪が充分乾きましたならば、頭の地を[illegible]一に、次に頭髪にかけて純粋な品質のミツワ椿油を塗つて置きますと、毛髪の營養は拔[illegible]助けられ、發育がよくなつて、拔毛や折毛が無くなりよく申す鳥の濡羽色のやうに、眞黒に艶々とした美しいお髪になります。毛髪を大事になさいます方は、皆此の方法をとつておいでになりますので只今ではミツワ式洗髪法といふ名が出來た程でございます

醫學士　小山田[illegible]著
家庭治療法　四六版　二三〇頁
本書は日常罹り易き疾病の原因症狀等を平易に說き、家庭に於て施し得る治療法を丁寧に教へ、醫師にかゝるまでの親切な相談相手となるものである。定價金五拾錢。但其半額（郵券代用不苦）を添へ御申込あれば一冊送呈す。東京日本橋區橘町　丸見屋商店（振替東京七一〇番）

七大醫學博士の賞讃ご證明ある
美味滋養の純生粹葡萄酒
赤玉ポートワイン



類似品あり　赤玉印に御注意

滋養力偉大
血を増し肉を肥し元氣を盛にする滋養豐富な赤玉ポートワインは健胃補血興奮强壯の効驗著なる點に於て葡萄酒中特に模範的である此點は七人の博士方が賞讃された點であつて今や有名な醫家病院の藥局に藥御用として採用されてゐる藥効偉大なる美味滋養の葡萄酒である
代理店　京城　辻本商店

貯蓄預金　元金百圓ニ付日歩壹錢三厘　金壹錢以上何程ニテモ御預申候
株式會社長崎貯蓄銀行代理店
株式會社十八銀行京城支店
京城黄金町　電話四二〇番　五八〇番　振替貯金口座京城八一四番
同　龍山出張所　龍山元町二丁目　電話一八番
ニ預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ諸取扱可申候

◉體力増進の要素◉
人體に對する壓縮肥料
病菌に對する鐵條網
ワダカルシューム錠
定價　百錠入　五十五錢　三百錠入　一圓四十錢　千錠入　四圓二十錢
●全國到處の藥店にあり
◉櫛林博士推奨狀に曰く　余も亦過去一年有半に亙りて之を自己自體に試み其有効なるを親しく經驗せり云々
◉片瀬學士鑑査證明に曰く　予は常時カルシユームの服用を怠らざるのみならず予が家族に之を服用せしめて其効力を確認せり云々
大阪道修町二丁目　振替口座大阪一〇三九　電話本局一〇九七九　和田卯助商店

中央自動車組合　電話一四七番
原州江陵間自動車發著時間
六月一日より左記の通り開通仕候
原州發毎日午前八時江陵著後七時
江陵發毎日午前八時原州著後七時
京釜線水原驛前

大阪商船出帆
仁川出帆
◎神戸、大阪行　△日清丸　六月十一日　後五時出　能登丸　六月十四日　後五時出
元山出帆
◎西湖津、新浦、城津、淸津行　宮島丸　六月十二日　後十二時
◎釜山、門司、宇品、神戸、大阪行　安平丸　六月十一日　後九時出
大連出帆
◎上海、基隆、打狗行　湖北丸　六月九日　前六時出　共隆丸　六月廿一日　後四時出
內地各港出帆主要航路
歐洲行　一年四回　南米行　一年四回　濠洲行　毎月一回　北米行　毎月二回　孟買行　毎月二回　南洋行　毎月一回
御注意　[illegible]
大阪商船株式會社仁川支店　電話二二番五〇番
京城　切符代賣所[illegible]

請合藥行仕藥店販賣不許
全國到る所の都市朝鮮滿洲南清台灣等に支店あり
詳細は本月六日の本紙を御覧

京城南大門外停車場通　ドラッグ商會滿鮮本部（振替京城四六六番　電話一三六番）
京城黄金町三丁目　全支店
龍山漢江通旅館前　全支店
釜山大廳町二丁目　全支店
元山本町三丁目　全支店
平壌櫻町十二番地　全支店
仁川宮町二丁目　全支店
◉朝鮮のにせ物　京城　龍山　仁川等各地ににせドラッグあり瞞著せられざる樣御注意を乞ふ
にせ物　東京大阪各地ににせドラッグあり　大阪有田製を買取あれ
◉あらゆる治療を示すも効なき患者は究に來談あれ
分析料　百圓　進呈
帝國醫科大學院　病毒王藥は治淋劑とし梅毒王藥は驅梅內服藥として最も藥學上最有効と確定し於等にて當掲配劑せる高貴藥なるを保證す若し前述の證言に違へる事を發見せる時は
りん病　ばい毒　請　特三圓　並二圓　送料十二錢　合　特二圓　並一圓五十錢　藥
百圓　進呈　大三休　阪北詰南　大阪有田ドラッグ商會
東京日本橋通四　大阪心斎橋筋本町　有田ドラッグ
龍山其各地に偽物有御注意

日本郵船仁川出帆
◎大連行、天津行　相模丸　六月十九日　三河丸　七月九日　高砂丸　六月廿九日　正午出帆
仁川海岸町一丁目　電話十一番　堀回漕部

[illegible]汽船仁川出帆
下關、大阪直行　第一太湖丸　六月　日後四時出　君代丸　六月　日後四時出　大有丸　六月八日後四時出
群山、下關、神阪行　君が代丸　六月九日後四時出
仁川海岸通五丁目　高杉回漕部

共同汽船仁川出帆
大連直行　共同丸　六月八日後入港　廿一日正午出港
阿波共同汽船株式會社　本所四丁目（電話一七三番）
仁川代理店　野口商會　元山代理店　田口回漕部　京城代理店　河村運送店

朝鮮郵船出帆
◎敦賀行　平壤丸　六月十九日　清津發
◎浦汐行　山陽丸　六月十八日　釜山發　六月二十日　元山發
◎雄基行　京畿丸　六月十四日　釜山發　六月十七日　元山發　成鏡丸　六月十九日　釜山發　六月廿三日　元山發
◎元山雄基線　鏡城丸　六月十一日　元山發
◎大阪行　平安丸　六月十四日　六月十六日　釜山發
◎關門行　×摩耶山丸　六月十五日　元山發　六月十八日　釜山發　忠清丸　六月十一日　元山發　六月十五日　釜山發
◎金剛山遊覧便　鏡城丸　六月十三日　元山發
◎釜山浦項線　啓德丸　六月十二日　釜山發
◎濟州島行　江陵丸、寰瀛丸　毎日釜山、浦港發　昌平丸　六月十日　釜山發
◎濟州島行　木浦發　東廻慶興丸　六月十二日　西廻公州丸　六月十九日　木浦發
◎釜山麗水線　海州丸、巨濟丸、統營丸　毎日　釜山麗水發
◎木浦麗水線　金海丸　六月十日　木浦發
◎多島海行　公州丸　六月十四日　木浦發
◎木浦行　慶賀丸　六月十三日　仁川發
◎海州行　錦江丸成歡丸毎日一回仁川海州發
◎鎮南浦行　晉州丸　六月十六日　仁川發
◎青島行　江原丸　六月十一日　仁川發
◎鎮南浦大連直行線　宗信丸　六月十二日　鎮南浦發
本社　京城南大門通（電話一九五一二二二三三）
釜山港佐藤町　釜山支店　元山港海岸通　元山出張所　仁川港代理店　堀回漕部　木浦港代理店　小野回漕部　京城荷客取扱店　原運送店　京城南大門驛前　松
（其他各港地ニ荷客取扱店アリ）